

慈恵大学の「今」を伝える法人情報誌

# The JIKEI

Vol.29

2017 / SUMMER



## さようなら中央講堂

特集

Feature

大学本館とともに逝く中央講堂

同窓会と中央講堂

西新橋キャンパス再整備計画 建築進捗状況について

歴史探訪 皇室と慈恵の関係の端緒となった大学本館

### 大学本館を去るにあたり

学校法人慈恵大学 理事長 栗原 敏

Nursing

看護

時代のニーズにこたえる  
看護学基礎教育を目指して

Ongoing

教育 診療参加型臨床実習後OSCEを7月に初実施

研究 基礎臨床講座とともにより良い基礎シーズを開発

診療 世界に先駆けてハイブリッド手術をリード



# CONTENTS

巻頭言	大学本館を去るにあたり 学校法人慈恵大学 理事長 栗原 敏	2
Feature さようなら 中央講堂	大学本館とともに逝く中央講堂 名誉教授 中山 和彦	3
	同窓会と中央講堂 東京慈恵会医科大学同窓会 会長 高橋 紀久雄 様	6
	西新橋キャンパス再整備計画 建築進捗状況について	7
	歴史 探訪 皇室と慈恵の関係の端緒となった大学本館 名誉教授 中山 和彦	8
Ongoing	教育 診療参加型臨床実習後OSCEを7月に初実施 インタビュー 臨床研修センター センター長 川村 哲也	9
	研究 基礎臨床講座とともにより良い基礎シーズを開発 総合医科学研究センター センター長 大橋 十也	11
	診療 世界に先駆けてハイブリッド手術をリード 附属病院 脳神経外科・脳血管内治療部 診療部長 村山 雄一	13
Column	新任主任教授 専門分野紹介	15
Nursing	看護 時代のニーズにこたえる看護学基礎教育を目指して 看護学科長 (在宅看護学 教授) 北 素子	17
News Flash	(慈恵イベント)2017.1 ~ 2017.4 / 平成29年(2017)主な行事予定表	18
	1月 新年挨拶交歓会 1月 平成28年度 退任記念講義・パーティー 2月 看護学科におけるe-ポートフォリオシステムを活用した教育 3月 人命救助による消防総監感謝状を授与 3月 第92回医学科・第22回看護学科卒業式 3月 慈恵看護専門学校卒業式 3月 4病院合同災害対策訓練(総務課) 4月 新入職員就任式 4月 平成29年度医学部入学式	
New Organization / 新たな組織の紹介	乳腺・甲状腺センターについて 乳腺・甲状腺センター センター長 武山 浩	23
Notice	大学広報(行事/公示/学事/訃報/東京慈恵会公報/補助金・助成金/財務報告) ■ 生涯学習 ■ 寄付のお願い ■ 本学のガバナンスへの取り組み(行動憲章/行動規範 公益通報・研究に関する不正・ハラスメント等相談窓口について) ■ 医療連携窓口のご紹介	24
Column	史料室がリニューアルオープンいたしました 史料室 栗山 敦子	38

## 巻頭言 ■ 大学本館を去るにあたり

# 最後の卒業式と入学式に臨み 壇上で改めて慈恵の伝統に思いを馳せました

本号では、“さようなら中央講堂”として、大学本館の取り壊しと、その後の建築計画が取り上げられています。

本学の前身は、患者さんを良く診ることができる医師を育成するために、高木兼寛先生が開設した成医会講習所です。成医会講習所は、当時の京橋区鎗屋町(現在の銀座4丁目)にあった東京医学会社の一部を借りて始められました(1881年、明治14年)。しかし、しばらくして東京医学会社が閉鎖されることになり、増上寺の前にある天光院というお寺に間借することになりました。現在、大学が建っている場所には、旧東京府病院がありました。1881年(明治14年)7月に廃止され、ここに成医会講習所は居を構えることになっていました。しかし、コレラが流行して、感染症患者を旧東京府病院に収容することになり、すぐに移転できなかったのです。また、高木先生は、医師を育成するには、患者さんを診ることが必要だと感じ、天光院で診療を始めました(1882年、明治15年8月)。これが有志共立東京病院の始まりです。1883年(明治16年)、現在地(西新橋3-25-8)に成医会講習所と有志共立東京病院が移転して、現在の大学と附属病院の原型ができたのです。成医会講習所は、成医学校、東京慈恵医院医学校、東京慈恵医院医学専門学校、東京慈恵会医院医学専門学校と、時代と共に名称が変わりました。

1921年(大正10年)10月、東京慈恵会医院医学専門学校は大学に昇格し、東京慈恵会医科大学となり金杉英五郎先生が初代の学長に就任し、最高学府としての活動が始まろうとしていた矢先、1923年(大正12年)9月1日、関東大震災が被災し、本学の建物は、現在カルテ庫として使われている建物を除いて壊滅しました。金杉学長は大学再興を全教職員と同窓に呼びかけ寄付を募り、大学本館が1932年(昭和7年)に完成し、翌年、祝賀の式典が挙行されました。

このような歴史を振り返ると、大学本館、とりわけ、入学式、卒業式、就任式や多くの学術集会などに使われてきた中央講堂は、同窓生と教職員にとってまさに心の拠りどころなのであります。私自身、入学式、卒業式を中央講堂



学校法人慈恵大学 理事長  
栗原 敏

で挙行して頂いたことは忘れてはなりません。また、2011年(平成23年)3月11日、私が学長式辞を中央講堂の壇上で述べているさなかに、東日本大震災が発災し、中央講堂は大きく揺れ講堂内は騒然となりました。3階のバルコニーが左右に大きく揺れているのを見て、崩壊を覚悟しました。しかし、天井は崩落を免れ、卒業生、保護者、教職員の冷静な行動によって混乱が未然に防がれました。高木先生が守って下さったと実感しました。

中央講堂への思い出は尽きません。しかし、建物の老朽化が進んでいること、耐震性が万全でなく安全・安心を確保できないこと、本院外来棟を建てるための空地がないことなどから、西新橋キャンパス再整備計画の中で、大学本館を取り壊すことを決断したのであります。安全・安心に配慮した新外来棟を建て、診療、教育、研究が恙なく行われることを願ってのことです。

中央講堂で行われた、最後の卒業式と入学式に臨み壇上で、私は建物に郷愁を感じましたが、それ以上に、高木先生が成医会講習所を開設されて以来、今日まで、幾多の困難を乗り越え、本学を支えてこられた先輩諸氏の奮闘努力に思いを馳せると、感謝の念が湧き感慨に浸りました。大学本館を取り壊すにあたり、慈恵大学とはどのような道を歩んできたのか、何が受け継がれてきたのかということを考えると、我々はこれからどのような歩みを進めていくのかが問われています。



# 特集

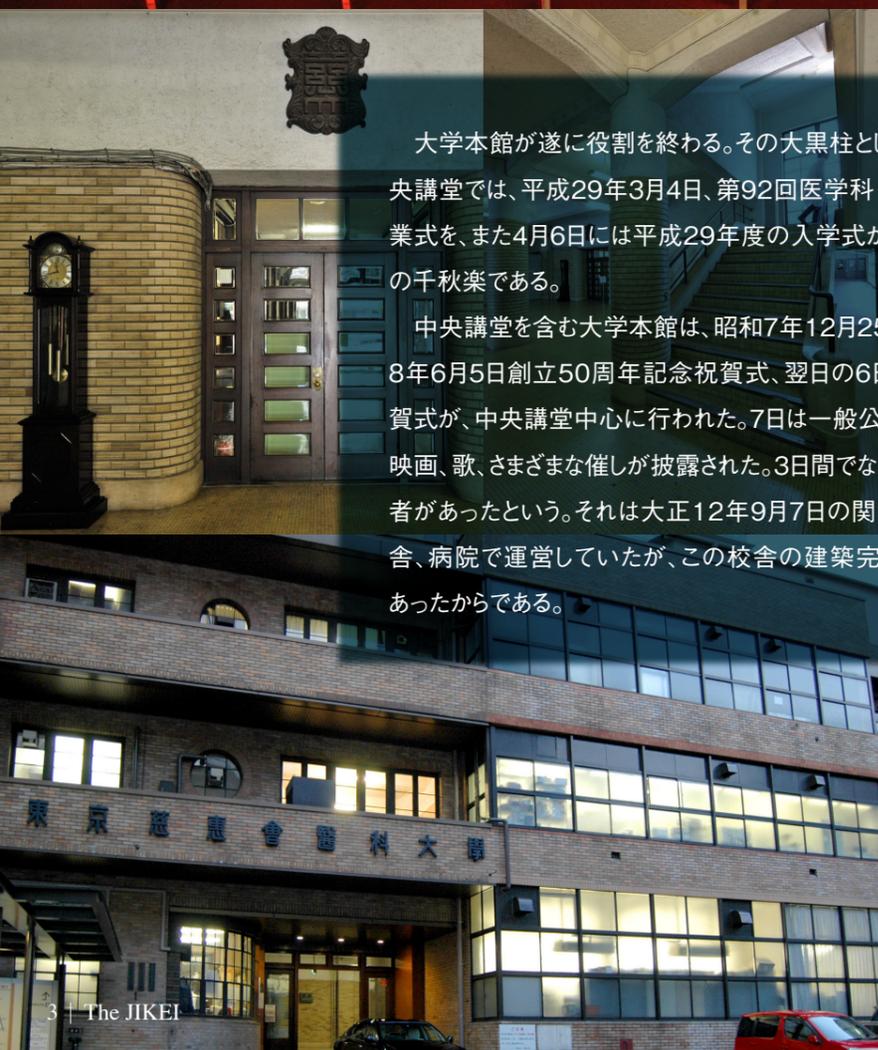
Feature

さようなら中央講堂

## 大学本館とともに逝く中央講堂

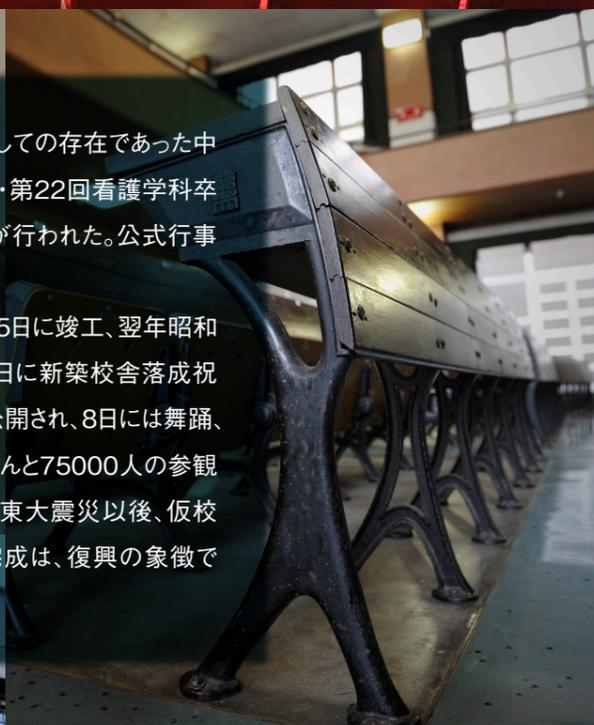
慈恵が歩んできた136年の道、「医の王道」はつづく

名誉教授 中山 和彦



大学本館が遂に役割を終る。その大黒柱としての存在であった中央講堂では、平成29年3月4日、第92回医学科・第22回看護学科卒業式を、また4月6日には平成29年度の入学式が行われた。公式行事の千秋楽である。

中央講堂を含む大学本館は、昭和7年12月25日に竣工、翌年昭和8年6月5日創立50周年記念祝賀式、翌日の6日に新築校舎落成祝賀式が、中央講堂中心に行われた。7日は一般公開され、8日には舞踊、映画、歌、さまざまな催しが披露された。3日間でなんと75000人の参観者があったという。それは大正12年9月7日の関東大震災以後、仮校舎、病院で運営していたが、この校舎の建築完成は、復興の象徴であったからである。



### 建物が変わるとき

昨年2月より本格スタートした新大学2号館(仮称)の新築工事は、あっという間に進み、私たちの目前に大きな姿を現している。新大学2号館は、1月には外装工事が終了しているので、まるで出来上がっているような錯覚に陥る。6月には竣工し、その後大学2号館、大学本館から引っ越しが始まる。そしていよいよ9月には、大学本館が解体されるのである。

西新橋キャンパス再整備計画には次のようなビジョンがあるのをご存じだろうか。

#### 「医の王道を歩み、未来に飛翔(はば)たく慈恵 世界の医療をリードする大学病院」

この本意とはなにか。人や時代によって価値観は変化する。私たちをとりまく環境が大きく変革しても、道を外れず、本学が歩んできた136年の道、「医の王道」を今後も歩みつづけ、世界に誇れる大学病院を創ることを目標に革新・改革に取り組んでいくというものである。

建物にも寿命がある。建物の変遷は、時代の移り変わりも顕わしている。慈恵は136年という長い歴史のなかで、何度も生まれ変わった。もともと東京府病院のあった場所で高木兼寛は、成医会講習所とともに有志共立東京病院を建設、開設するつもりでいた。コレラ流行のため、予定より

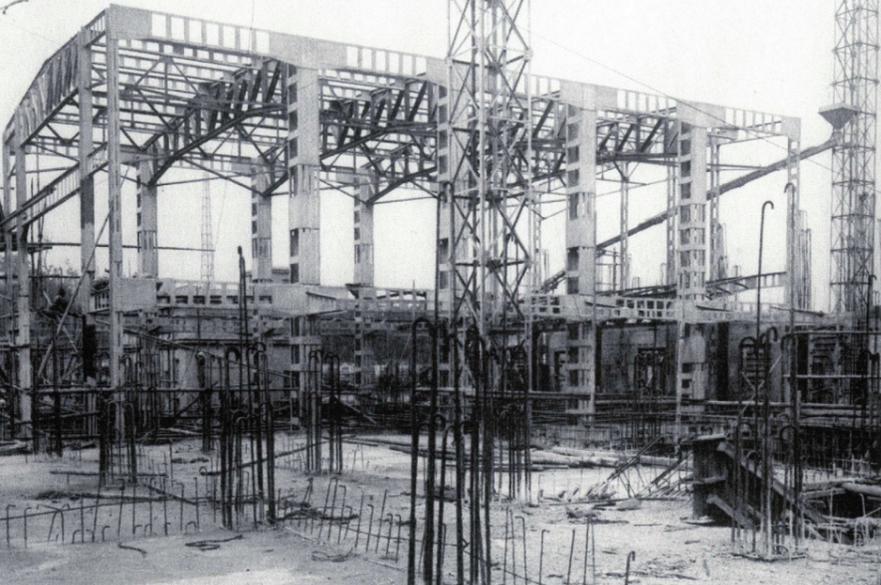
遅れて開院するが、はじめは東京府病院の建物を利用していた。徐々に改築、増築、新築していった。そんななか東京慈恵会の強靱な構造が完成し、大きく羽ばたきはじめた時期に、あの関東大震災(大正12年9月7日)によって記念館を除いてすべて破壊されたのである。その後仮の建物で大学、病院と運営していたが、昭和7年になってやっと念願かなって建設されたのが、大学本館である。第二次世界大戦中には愛宕周辺の防空壕の役割も果たしたと聞いている。

平成23年3月11日、東日本大震災が起きた。その時中央講堂はまさに卒業式の真最中であった。幸いにもその地震には耐え無事に卒業式を全うすることができた。そんななか関東大震災復興の象徴であった大学本館は85年を経過してその歴史に終止符を打つことになったのだ。

### 中央講堂を包む大学本館のたたずまい —英国情緒を伝えるスクラッチ・タイル

英国といえばレンガ仕立ての邸宅である。本館を包み込む赤茶けたレンガ風の外観はまさにそれを連想させる。もともとはスクラッチ煉瓦であったようであるが、昭和初期にはスクラッチ・タイルが用いられている。

スクラッチ・タイルというのは、横長の長方形のタイルで、



「中央講堂お別れ会」の開催にあたって

## 同窓会と中央講堂

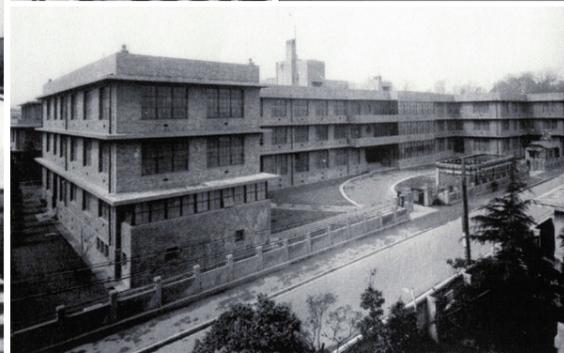
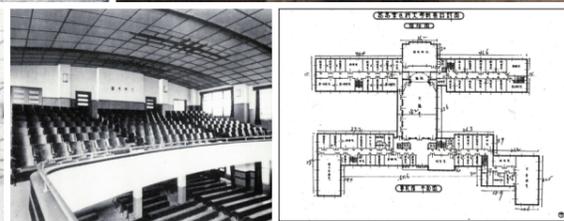
東京慈恵会医科大学同窓会 会長  
高橋 紀久雄 様



「中央講堂お別れ会」の開催にあたり、会員の皆様は様々な想いを持って参加されたと思います。中央講堂での最大の事件は、平成23年3月11日の東日本大震災だと思えます。本学卒業式の学長式辞の真っ最中に衝撃が走りました。しかし、栗原学長は一瞬の間のあと、ひるむことなく式辞を続けられました。後ろに居た父兄会長が「先生、卒業生を直ぐ避難させましょう」と言いましたが、「学長式辞の最中だし、少し様子を見よう」と言って制止した記憶があります。私の前には名誉教授の先生方が数人居り、天井では古い照明器具が大きく揺れて落ちそうでしたが、何故かどなたも動揺してませんでした。少し経って地震のことを聞き、大きな事故が無かったので、ホッとしたのを覚えています。

平成18年の全国支部長会議を大学1号館の3階講堂で開催しましたが、多数の先生から「どうして中央講堂では無いんだ。我々は年1回中央講堂での会を楽しみにしているのに」とお叱りを受けたことも有りました。個人的には昭和39年の入学式、45年の卒業式では当時の樋口一成学長が、この壇上で慈恵医大の歴史と伝統を、又慈恵医大で学んだ医師としての心得・品格・プライドについて、鋭い眼差しで話されたことを思い出します。また、学生時代にはフルバンドに参加して、この舞台上でジャズコンサートも開催できました。

85年間慈恵大学のシンボルであったこの中央講堂を取り壊すことは、万感の思いがありますが、次の世代に前進する為にはやむを得ないことであり、決断をされた栗原敏理理事長始め役員の皆様に敬意を表したいと思います。会員の皆様も、歴史と伝統を脳裏に焼き付け、思い出を胸にしまって、この記念すべき7月1日に居合わせたことを幸せに思っ、本学の更なる発展を見守りましょう。



表面に引っかき傷のような櫛目がつけてある。これがその名前の由来である。色は淡褐色であるが、色合いの濃いのが薄いのがいろいろ混じっている。このタイルは焼き物で人手によって窯で焼いて作っているためで、そこがかえって建築の表面に微妙な色合いの変化をもたらすモザイク様の美しさを醸し出している。これは昭和初期の建築に特有のものである。その由来は大正12年、おりもおり関東大震災当日に落成した帝国ホテルにみられる。それはあのフランク・ロイド・ライトの設計し、用いたことに始まる。そのことは大学本館がライトの作品であると愛宕界隈で信じられていた所以かもしれない。

さらに興味深いのはスクラッチ煉瓦と英国王室御用達のミントンのタイルが特徴であるジョサイア・コンドルの影響を強く受けていることである。コンドルは慈恵医大病院の原点である施療病院であった有志共立東京病院の資金源となった鹿鳴館パザーの行われた、その鹿鳴館の設計者である。実は建築界にも明治初期の医学界と酷似した

出来事があった。すなわちイギリスとドイツの建築界のぶつかりである。イギリス建築の鹿鳴館は解体された。イギリス医学を誇示し伝承してきた本学にとってなにか因縁のようなものを感じる。

### 慈恵人としての覚悟

新しい大学、病院の建物が徐々に完成する。この新しい建物が生きるかどうかは、慈恵人にかかっている。大学の再整備計画を具現化するため何が必要か。安心で安全の医療を提供するために、先進医療の提供と研究、将来の医療を担う人材育成が重要である。聖トマス病院医学校をモデルに高木兼寛は役に立つ医療を提供するためには立派な医師を生み出すことを理想とした。新しい建物が輝くかどうかは 慈恵人としての覚悟、心の構えが必要である。慈恵の名前が示す、慈(いつくしむ)、敬(敬う)という精神をもって臨んでほしい。



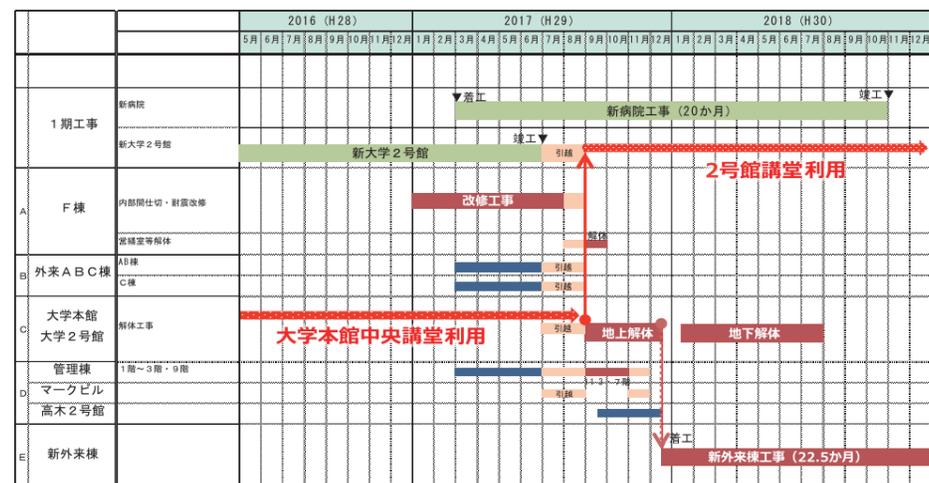
# 西新橋キャンパス再整備計画 建築進捗状況について

西新橋キャンパス再整備計画は順調に進捗しておりますが、いよいよ大学本館、大学2号館、旧図書館の各諸室が7月・8月の2か月を掛け移転し、9月には解体作業がはじまり、そこに新外来棟が建築されます。理事室、管理棟、愛宕マークビルなどに点在していた臨床系の医局と教授室、会議室などは、6月に都有地(旧港工業高校跡地)に竣工した2号館(※仮称としていた「新大学2号館」の名称は「2号館」となりました)などに移転いたします。

2号館は、地下1階、地上14階で、1階には最大700名収容の講堂があり、解体する大学本館にあった中央講堂に代わる施設となります。ここは、入学式や卒業式などの式典、分割使用により会議や研究会などにも使用することを想定しています。3階に理事室および高木会館5階にあったA会議室・B会議室が配置され、6階から14階には、大学2号館、管理棟、愛宕マークビルなどに点在していた臨床系の医局と教授室を配置するとともに、各医局にあったラボの機能は4階・5階の臨床ラボに集約されます。

なお、2号館は、平成30年10月に、新病院(小児・周産期医療センター:仮称)部分が完成すると、一棟として地下階の倉庫なども全て使用できるようになります。さらに平成32年1月の新外来棟オープン時には、新病院と新外来棟が地下と地上3階・4階の連絡通路でつながるため、本学の3つの敷地を一体的に有効活用することができるようになります。

## ● 建築・改築スケジュール



中央講堂は将来再生できるように、椅子の鋳物など、必要な建材を解体前に保全する。

## ● 2号館 各階 配置一覧

	医局・諸室等	会議室
14階	皮膚科、放射線科、精神神経科	1401会議室、1402会議室、1403会議室
13階	内視鏡部、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科	1301会議室、1302会議室
12階	糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、産婦人科、総合診療部	1201会議室、1202会議室、1203会議室、1204会議室
11階	腫瘍・血液内科、麻酔科、呼吸器内科	1101会議室、1102会議室
10階	外科、感染制御部	1001会議室
9階	心臓外科、歯科、循環器内科、整形外科	901会議室
8階	脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科	801会議室、802会議室、803会議室
7階	神経内科、眼科、小児科、新橋健診センター	701会議室、702会議室
6階	形成外科、リハビリテーション科、研修医室、鏡視下手術トレーニング訓練室等	601会議室、602会議室、603会議室
5階	臨床ラボ	
4階	臨床ラボ、システム研修室、女性教職員ロッカー室等	
3階	理事室、秘書課	会議室A~D
2階	システム課、機械室、電気室、防災センター、備蓄倉庫	
1階	講堂、備蓄倉庫	101会議室
B1階	健診センター保管庫(仮使用中は廃棄物保管庫) 廃液保管庫	

## 歴史探訪

# 皇室と慈恵の関係の 端緒となった大学本館

改めて気付かされる、大学、病院が継続してきた本質的なエネルギーの源

現在の東京慈恵会医科大学の敷地の所在と所有者はどのような遍歴があったのだろうか。そのことを広報推進室、西新橋再整備準備室、学術情報センターなどの多くの方々の協力を得て調べることにした。

その結果、非常に興味深いことが出てきた。慈恵と皇族との関係の原点となったのではないかとされる事柄が浮かび上がってきたのである。

## 廃院となる東京府病院を借用を出願

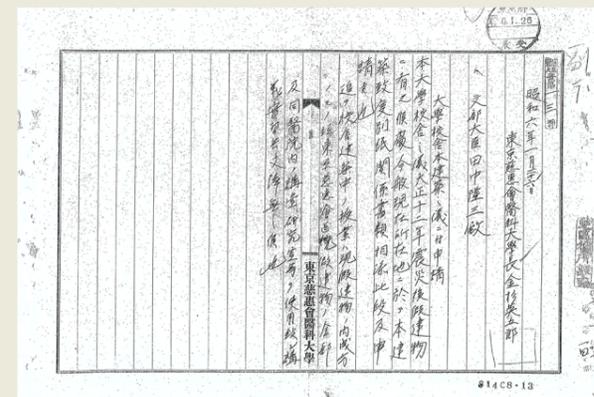
昭和6年1月26日、東京慈恵会医科大学、校舎建築の件として東京府に提出された申請書(資料1)と、同年3月6日にそれが認可されたと記載のある貴重な書類(資料2)があらたに発見された。初代学長の金杉英五郎によって提出されている。

その概要には、「大正12年震災後仮校舎で運営しているが、今後の運営上、本建築が必要である。その工事費に見込みがたつた」旨が記載されている。この建築費はそのほとんどが同窓の寄付によるもので、当時の金額で100万円以上が集まった。

この申請書のなかに新たな発見がもう一つあった。それは土地所有者が「宮内省帝室村野局」となっていて、賃借料無料と記載されていたのである。

この地はもともと東京府病院があったところで、西南戦争後のインフレがもとで、運営が破綻して明治14年7月に閉鎖された。それを高木兼寛が取得して有志共立東京病院を設立したと伝わっていた。

しかし、事実は少し違っていた。まず明治14年2月7日付



(資料1)



(資料2)

で東京府病院の建坪諸物品調という書類が出てきて、それに対してする明治14年6月から15年3月の間にあった常置委員会決議録というものが出てきた。これは近いうちに廃院となる東京府病院を借用する出願書であった。

## 施療病院の伝統を受け継いだ慈恵

東京府病院は、大学東校の校長だった佐藤尚中が、明治5年に東京府の一般庶民の医療施設として設立したいと宮内省に建白して、宮内省が東京府に一万円の御下賜金を出されて設立されている。

初代院長は岩佐純(あつし)で二代目が坪井信良、三代目が長谷川泰であった。この時代に無料の診察券を発行し、施療病院としての活動を行った。しかし、たった一年間で閉鎖となり、高木兼寛が東京府病院の建物、物品、医療器具など、そのまま借り受けた。

今まで慈恵医大の創立の根幹は、病院運営、構造自体もイギリス医学、セントマス病院がモデルであると考えられてきた。それも事実であるが、貧困救済、弱者のための医療を目指した東京府病院が直接のモデルになったと考えるほうが現実的ではないだろうか。

高木兼寛は、ものだけでなく施療病院の伝統もそっくりが受け継いだことになる。すでに東京府病院が宮内省直々の運営であったことから、東京慈恵会と皇族との関係もそこから始まったと考えると自然である。

140年近い歴史を紐解くと、新たに判ってくるものが絶えない。今回の新外来棟や医局、研究室、管理部門のあらたな建築により古い建物とはお別れになる。むしろそのような機会があつてこそ大学、

病院の長く継続してきた本質的なエネルギー源が何だったのか気づかされることにもなる。平成29年が、本学の永遠の存続を誓う年になることを祈念したい。

(文:名誉教授 中山 和彦)



Ongoing  
01  
教育

インタビュー

臨床研修センター  
センター長  
川村哲也

## 診療参加型臨床実習後 OSCEを7月に初実施

このOSCEによって、  
学生が大きく伸びていくことを期待しています

診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ=CC)に力を入れる本学では、CC終了後の6年生に、今年7月から診療参加型臨床実習後OSCE(Post-Clinical Clerkship OSCE、以下Post-CC OSCE)を実施します。Post-CC OSCE実施委員長である川村哲也臨床研修センター長に、同OSCEについて伺いました。

まず、7月に初実施する「臨床実習後OSCE」はどのような試験か教えてください。

**川村教授(以下川村)** 5年次9月から6年次7月までの診療参加型臨床実習の修了要件です。臨床実習前に行われるOSCE(客観的臨床能力試験)に合格しないと、臨床実習はできません。同様に、「Post-CC OSCE」に合格しないと卒業できません。臨床現場で行う診療行為を課題とし、研修開始時に必要な臨床能力を評価します。

この試験を今年から導入する理由は?

**川村** 2023年から、米国医科大学協会か世界医学教

育連盟(WFME)の基準による認証を受けていない医学部の卒業生は米国の医師国家試験を受験できなくなるため、日本では2010年以降、医学教育を見直してきました。文部科学省が2012年から取り組む「グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」事業に、本学の「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」というプロジェクトが採択されました。そのプロジェクトの一環として、臨床実習後OSCEを導入します。

日本の医師国家試験は筆記試験だけで実技試験はありませんから、いい試みですね。

**川村** 2015年に厚生労働省が発表した「医師国家試験改善検討部会報告書」によると、2020年度を目処に、医療系大学間共用試験実施評価機構が、全医学部に統一的な診療参加型臨床実習終了後のOSCEを導入する予定です。本学では統一試験になる前から独自の試験を実施することになります。



「Post-CC OSCE」を実施するまでの経緯や  
苦労した点などは?

**川村** 2014年5月に私を含め複数の教員がイギリス・ロンドンにあるキングスコレッジの卒業時OSCEを視察に行き、同年10月に「卒業時OSCE検討ワーキンググループ」を発足しました。15の評価項目(表参照)を決め、どのような課題を課し、どのように評価していくかについて検討を重ねました。一番大変だったのは、OSCEの課題作成でした。課題内容については、2016年7月にクリニカルクラークシップ(CC)開始前の5年生とCC担当教員にその骨子を配布しました。2017年2月にPost-CC OSCE実施委員会が発足。評価基準を一定にすることが必要なため、6月に評価者トレーニングを実施する予定です。

評価者について教えてください。

**川村** CCを担当する全診療科の教員が評価者として参加します。

実施日と実施内容は?

**川村** 7月28日13時~18時にOSCE-A(選択科)、7月29日9時~18時にOSCE-B(必修科)を実施します。

A(選択科)の内容や実施方法について  
教えてください。

**川村** 医学教育モデルコアカリキュラムの基本36症候のうち、発熱、呼吸困難、めまいなど10症候から指定された3症候について、紙でシナリオを提示し、焦点を絞った問診、身体診察などから鑑別診断をあげ、検査計画と必要な初期対応を述べます。ひとつの症候についての受験時間はすべて8分です。

B(必修科)についても教えてください。

**川村** 9つのステーションでそれぞれ12分受験します。ステーション1~5は医療面接です。このうち最初の4つは焦点を絞った問診と身体診察、検査結果(血液、心電図、画像)の解釈、臨床推論、上級医へのプレゼンテーションを評価します。最後の医療面接では、患者への共感的態度、家族への配慮などもみます。ステーション6はカルテ記載、7は手技、8は救急時の対応、9はさまざまな医療職が連携したチーム医療について評価します。

ステーション7の手技ではどのようなことを  
評価しますか?

**川村** 採血、尿道カテーテル挿入、縫合、乳房または直腸の触診のなかから2つの手技を評価します。このとき、手技に対する患者からの同意取得、感染対策についてもきちんとできているかみます。

ステーション8と9は?

**川村** 8ではBLS(一次救命処置)などの救急時の対応を評価。9では入院患者の退院支援・調整能力を評価します。多職種から必要な情報を集め、今後の方針を決定します。

この「Post-CC OSCE」に合格しなかったときは  
どうなるのですか?

**川村** 7月の試験で合格しなかったとき、諸事情で受験できなかったときには、8月末に追試験、再試験を受けます。追・再試験が不合格なら、5年次に戻ってCCを再履修します。

これからは、知識に加え、態度と技術も評価し、  
両方を習得しないと卒業できないということですね。

**川村** 今までも実習病院から学生の評価があり、「慈恵の学生は優秀で、研修医と変わらない」と褒めていただくことが多かったのですが、それぞれの病院の担当者の評価であり、統一の評価基準はありませんでした。今年から始める「Post-CC OSCE」によって、統一の評価基準で全学生を公正に評価できます。CCの前に課題内容の冊子を配布したため、学びがさらに深いものになったと思っています。CCで十分に修得出来なかった手技については、学生が教育センターのシミュレーターで練習し、正確な手技を身につけてほしいですね。このOSCEによって、学生が大きく伸びていくことを期待しています。

臨床実習後OSCEにおける主な評価項目(抜粋)

- 適切な医療面接ができる
- 得られた所見から適切な臨床推論ができ、問題点を抽出できる
- 得られた情報を統合し、診断・治療計画を立案できる
- 適切な症例プレゼンテーションができる
- 患者・家族と良好なコミュニケーションがとれる
- 緊急性を評価し、適切な初期対応ができる
- 退院後の療養について配慮できる
- 多職種で連携し、他のメンバーに対し誠実に行動できる

# 基礎臨床講座とともに より良い基礎シーズを開発

総合医科学研究センターの全体像について

総合医科学研究センター  
センター長  
大橋十也



総合医科学研究センター（以下センター）は、医学研究遂行が、その主な任務であり基礎系に属するが、基礎と臨床を繋ぐ機能も有する組織である。総勢130名以上の大きな組織であり、10の研究部門、5つの支援部門、2つの研究所よりなる（表）。教員40名、研究技術員・秘書などの職員40名、大学院生45名（全大学院生149名なので3分の1弱がセンター所属）、その他、訪問研究員、ポストクが所属して日夜、精力的に研究ならびに研究支援・教育を行っている。栗原理事長より、講座は代々受け継がれた伝統的研究を、センターは先端的かつ学際的な研究を遂行することと住み分けがなされている。センターのミッションとしては、松藤学長の言われる研究により医療に役立つこと、学内で行なわれている様々な研究の支援をすること、そして大学院を中心とした教育を通して次世代の研究者を育てることである。

センターの歴史は古く昭和40年1月11日に設立された附属研究室（機能研究部門、形態研究部門）に遡る。昭和52年には共同利用研究部（初代 平野正部長）、昭和63年には医科学研究所（初代 井川幸雄所長）、平成7年には現在の総合医科学研究センター（初代 岡村哲夫センター長）と名称を変え、時代のニーズに合わせて様々な部門が設置され現在の大きな組織へと変遷した。センター長は平成13年には岡村学長より栗原学長へバトンタッチされ、平成25年には栗原学長より私、大橋へバトンが引き継がれた。平成23年1月より自己評価、平成23年12月より外部評価が開始され平成25年9月にその結果が公表された。それを受ける形で平成26年4月にセンターは大きく改組され、それまで混在し

てきたセンターの機能が明確に研究部門、支援部門、そして分院における研究の振興を目指した2つの研究所と明確に分けられた。また西新橋キャンパスではキャンパス内で散在していた各部門も、多くが大学一号館に集約された。

研究部門としては10の研究部があり、それぞれのテーマに沿った研究を進めているが基礎講座が主に深く生命現象を明らかにする基礎研究を行っているのに対し、センターの研究部ではもちろん、そういった基礎研究を行っている研究者が多いのが特色であり、臨床応用を強く目指した応用研究が行われている。事実基礎シーズを生かした悪性腫瘍に対する免疫療法や、アレルギー緩和剤などがヒトを対象に行われた。またいわゆるベンチ上の研究だけではなく臨床研究を遂行・支援する部門も3つ存在し、臨床研究支援センターと協力し学内臨床研究のけん引役となっている。

支援部門は5つよりなり、自身の研究テーマももちながら本務は学内研究の支援業務である。基盤研究施設は分子遺伝学、分子細胞生物学の2つの施設があり、前者は主にゲノム診断、治療など近年隆盛を極めているゲノム研究の下支えをしており、後者は最新の研究機器を備え、生化学、形態学的な研究の支援を行っている。実験動物研究施設では本邦でも数台しかない小動物用9テスラーMRI装置、小動物用CT、エコー、発光・蛍光イメージングシステムなどを有し最新の画像的評価を可能にしている。アイトープ実験研究施設アイトープを用いる研究が安全に行われるよう万全の体制で管理されており、安心して効率のよい正確な実験を行うことができるように配慮されている。GMP対応細胞・ベクター産生施設はヒトへ投与するのに必要なGMP基準を満たした細胞治療、遺伝子治療用の細胞、ベクターの調整が出来る施設であり、基礎研究より得られた細胞・遺伝子治療のシーズを臨床応用するための、トランスレーショナルリサーチを支えている。現在、癌の免疫細胞治療や中耳の再生医療など3つの細胞治療の臨床研究に使用する細胞調整が行なわれており、今後益々需要が増える事が予測される。これらの臨床研究は、こ

の様な施設があつて初めて可能であり非常に重要な施設となっている。

2つの研究所はそれぞれ国領キャンパス、柏キャンパスにある。

高次元医用画像工学研究所は国領キャンパス内にあり、種々の先端医療システムを開発し、人体動作の四次元解析や医用画像に関する研究開発を行っている。X線、CT、MRI、超音波などの二次元、三次元、あるいは四次元画像解析を行い、医学教育、外科手術、遠隔医療などに貢献しており、第三病院外科、整形外科、耳鼻科と共同で、新たな手術法の開発も行っている。

臨床医学研究所は柏キャンパス内にあり、患者さん中心の医療が附属病院で実践できるように、臨床医学の研究を支援し、かつ、推進することを目的として柏病院に設置された。ここでは、隣接する柏病院の医師に研究の場を提供するとともに糖尿病のバイオマーカーに関する研究が行われている。今年になり1つの研究部門が西新橋キャンパスより異動したり、研究者が異動したりと徐々にその機能が充実して来ている。また東京大学、東京理科大学、癌センターなどの近隣施設との共同研究の発展も目指している。

以上、センターは基礎臨床講座と協力しより良い基礎シーズを開発し、それを患者さんにいち早く届けるのが使命であり、その目標に向かって邁進している。

研究部門	遺伝子治療研究部
	悪性腫瘍治療研究部
	分子免疫学研究部
	医用エンジニアリング研究部
	神経科学研究部
	薬物治療学研究部
	分子疫学研究部
	臨床疫学研究部
	再生医学研究部
	超音波応用開発研究部
支援部門	基盤研究施設（分子遺伝学）
	基盤研究施設（分子細胞生物）
	実験動物研究施設
	アイトープ実験研究施設
研究所	GMP対応細胞ベクター産生施設
	高次元医用画像工学研究所 臨床医学研究所





術に対応できるよう清潔面でも高いレベルで改良がなされています。

このハイブリッド手術室で行うことができる手術は、心臓外科での経皮的弁置換術(TAVI)、血管外科におけるステントグラフト内挿術、整形外科、脳神経外科における側彎症手術、頸椎腰椎の狭窄に対する固定術、耳鼻咽喉科におけるナビゲーションを用いた内視鏡手術などをはじめ、脳神経外科では脳動脈瘤や頸動脈狭窄症、脳卒中などの脳血管障害のみならず、脳腫瘍に対するナビゲーション手術やてんかんに対する刺激装置留置術など多岐に渡ります。すでに米国やオーストラリアなど今後導入される地域から多くの専門家が当院のハイブリッド手術室の見学に訪れています。

麻酔科をはじめとする、手術室メンバーと協力して慈恵医大ならではの安全性と有効性の高い手術室として運用してゆく予定です。



慈恵医大とシーメンス社共催によるプレスセミナー風景。右手より丸毛院長、脳神経外科 村山教授、血管外科 大木教授、心臓外科 坂東教授らが講演を行った。



## 最新鋭多軸血管撮影装置 『アーティス フィノ』を設置したハイブリッド手術室 世界に先駆けて ハイブリッド手術をリード



ハイブリッド手術室とは従来血管撮影室で行われていたカテーテルを用いた血管内治療を手術室内に血管撮影装置(DSA)を設置することで、複雑な血管病変に対して複合的な低侵襲治療ができるようにデザインされた画期的な手術室です。慈恵医大は世界に先駆けて脳神経外科領域でハイブリッド手術室を2003年に開発した、ハイブリッド手術をリードする大学病院です。今回ドイツシーメンス社が我々のアイデアを取り入れて開発した新型多軸式血管撮影装置『アーティス フィノ』が世界で初めて手術専用装置として慈恵医大病院に導入さ

れました。工業用ロボットのアーム構造を医療用に改良し8つの回転軸により、Cアームのフレキシブルな動作を実現した最新鋭のシステムです。血管撮影機能のみならずCT装置としても圧倒的な解像度の3次元撮影ができ、ナビゲーション装置とも連動して術中にリアルタイムに画像を得られることで安全性の高い手術が可能となりました。外科的手技を行う際は装置のCアームが手術の妨げになることがありますが、アーティス フィノでは多様なパーキングポジションに移動することが可能で、手術室という限られたスペースを有効活用でき、様々な手

# Column / 新任主任教授 専門分野紹介



眼科学講座  
中野 匡

緑内障を専門とし、早期診断装置の開発や治療点眼薬の評価などを主な研究テーマとして、外来診療に携わって参りました。満足度の高い医療を提供できるように鋭意努力して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

- 略歴： 昭和62年 東京慈恵会医科大学医学部卒業  
平成元年 東京慈恵会医科大学医学部助手  
平成5年 東京労災病院 眼科医員  
平成7年 神奈川県立厚木病院眼科主任医長  
平成17年 東京慈恵会医科大学眼科学講座講師  
平成25年 東京慈恵会医科大学眼科学講座准教授  
平成29年 東京慈恵会医科大学眼科学講座主任教授
- 出身地： 大阪府
- 趣味・特技： テニス、音楽、映画鑑賞

平成29年4月1日公示



精神医学講座  
繁田 雅弘

企業人のうつ病や適応障害、団塊の世代の物忘れ(認知症疾患)の治療に力を入れ、産業医やかかりつけ医の信頼獲得を目指します。身体合併症に伴う精神症状のマネジメントや精神障害者の合併症治療や妊娠・出産への支援を積極的に行う人材を育てます。

- 略歴： 昭和58年 東京慈恵会医科大学卒業  
昭和63年 東京慈恵会医科大学精神神経科学教室助手  
平成4年～7年 スウェーデン・カロリンスカ研究所老年病学教室派遣研究員  
平成7年 東京慈恵会医科大学精神医学講座講師  
平成15年 東京都立保健科学大学精神医学教授  
平成17年 首都大学東京 健康福祉学部学部長  
平成18年 首都大学東京大学院人間健康科学研究科研究科長  
平成23年 首都大学東京副学長  
平成29年 東京慈恵会医科大学精神医学講座主任教授、日本老年精神医学会専門医・指導医、日本老年精神医学会理事、日本認知症ケア学会理事、日本臨床倫理学会理事、日本薬物脳波学会理事、日本保健科学学会理事、東京都医学研究機構理事
- 出身地： 神奈川県平塚市
- 趣味・特技： 建築模型

平成29年4月1日公示



放射線医学講座  
尾尻 博也

最先端の放射線機器による高度で先進的な画像診断、放射線治療をもとに、臨床、研究に邁進し、各診療科を幅広く支援するとともに、放射線医療を通じて社会に貢献できる人材の育成に努めて参ります。皆さまからの温かいご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

- 略歴： 平成元年 東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業  
平成3年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座入局  
平成4年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座助手  
平成11年～13年 米国University of Florida放射線科Neuroradiology部門留学  
平成16年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座講師  
平成19年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座准教授  
平成25年～27年 東京歯科大学市川総合病院放射線科准教授  
平成27年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座准教授  
平成29年 東京歯科大学客員教授  
平成29年 東京慈恵会医科大学放射線医学講座主任教授
- 出身地： 大阪府
- 趣味・特技： 読書・早起き

平成29年4月1日公示



内科学講座  
腫瘍・血液内科  
矢野 真吾

世界標準の抗がん薬、分子標的薬、抗体医薬治療および造血細胞移植療法を遂行しています。また各科と連携を図り、がん診療の充実に貢献して参りたいと考えています。これからは皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

- 略歴： 平成元年3月 東京慈恵会医科大学医学部卒業  
平成3年4月 東京慈恵会医科大学第三内科学講座医局員  
平成9年1月 学位取得(医学博士)  
平成10年10月 米国国立衛生研究所(NIH)留学  
平成14年4月 東京慈恵会医科大学内科学講座血液・腫瘍内科助手  
平成20年2月 東京慈恵会医科大学内科学講座腫瘍・血液内科講師  
平成28年10月 東京慈恵会医科大学内科学講座腫瘍・血液内科准教授  
平成29年4月 東京慈恵会医科大学内科学講座腫瘍・血液内科主任教授
- 出身地： 東京都
- 趣味・特技： 観劇、史跡めぐり、マラソン

平成29年4月1日公示



看護学科(精神看護学)  
小谷野 康子

精神看護の面白みを伝え、精神看護学の発展と精神保健医療福祉の質向上に寄与出来る実践家や教育・研究者の育成に努めてまいります。諸先生方のご指導・ご鞭撻・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 略歴： 昭和55年 東海大学医療技術短期大学卒業  
昭和55年 東海大学医学部付属病院勤務  
昭和61年 東京医科大学病院勤務  
平成8年 聖路加看護大学看護学部卒業  
平成10年 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了(看護学修士)  
平成10年 聖路加看護大学看護学部精神看護学研究室助手  
平成14年 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科精神看護学教務補佐員  
平成16年 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程入学  
平成19年 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了(看護学博士)  
平成19年 東京大学医学部健康科学看護学科客員研究員  
平成20年 順天堂大学医療看護学部・大学院医療看護学研究科講師  
平成24年 順天堂大学医療看護学部・大学院医療看護学研究科准教授  
平成28年 順天堂大学医療看護学部・大学院医療看護学研究科先任准教授  
平成29年4月 東京慈恵会医科大学医学部看護学科精神看護学教授
- 出身地： 北海道
- 趣味・特技： 料理、旅行

平成29年4月1日公示



看護学科(母性看護学)  
細坂 泰子

本学での母性看護学を発展させるための大きな柱として、教育、研究、領域の系統立てた組織づくりとその活動に尽力してまいりたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

- 略歴： 平成5年 愛知県立看護短期大学卒業(看護師)  
平成6年 名古屋市立大学看護短期大学部専攻科助産学専攻卒業(助産師)  
平成6年 小牧市民病院病院(助産師・看護師職)  
平成12年 愛知県立看護大学看護学科卒業(保健師・看護学学士)  
平成14年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程卒業(保健学修士)  
平成17年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程卒業(保健学博士)  
平成17年 北里研究所抗感染薬研究センター研究員  
平成19年 東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学講師  
平成25年 東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学准教授  
平成29年 東京慈恵会医科大学医学部看護学科母性看護学教授
- 出身地： 愛知県
- 趣味・特技： スポーツ観戦・読書

平成29年4月1日公示

# 時代のニーズにこたえる 看護学基礎教育を目指して



看護学科長(在宅看護学 教授) 北 素子

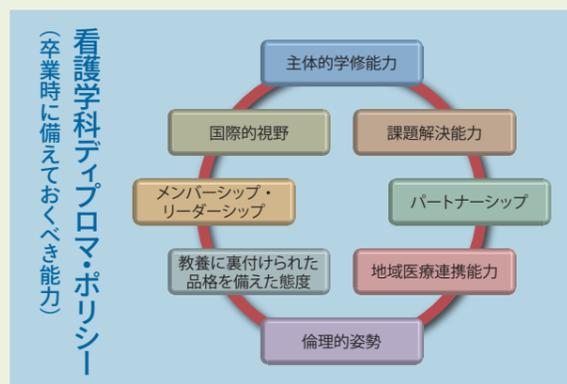
平成4年に開設された看護学科は、本年度26年目を迎えます。日本における看護学の大学教育化はこの間急速に進展し、看護系大学の数は本学看護学科開設当初は11校であったものが、現在255校を数えるまでとなっています。これにとまない、今、看護系大学における教育の質の在り方が社会的に強く問われてきています。

東京慈恵会医科大学医学部看護学科では一貫して専門的・社会的要請に応じられる、また看護学の発展に貢献できる創造性豊かな資質の高い看護実践者を育成するという教育理念の下、実直に看護教育が実践されてきました。カリキュラムは開設以来、平成15年度、平成21年度、平成24年度と、その都度の社会的要請に合わせて改正されてきました。ご承知のとおり、現在医療とその提供体制は複雑・多様化するともに、病院完結型から地域包括ケアの時代へと移行してきています。その中で看護専門職に期待される看護実践能力は、個別ケア・技術の提供にとどまらず、チーム医療の中で患者や療養者のQOLや生活のなりたちを焦点を置く調整的機能を含めたものへと変化しています。

今回の第4回目の改正にあたる平成29年度カリキュラムは、他の多くの看護系大学に先行し、慈恵の看護学科として、こうした時代のニーズを鋭敏に捉え、それにこたえうる課題解決能力と地域医療連携能力を強化する内容となりました。また、改正に当たっては、卒業時に学生に身に付けておいて欲しい能力(ディプロマポリシー:卒業認定・学位授与の方針)として、「主体的学習能力」「課題解決能力」「パートナーシップ」「地域医療連携能力」「リーダーシップ/メンバーシップ」「倫理的姿勢」「教養に裏付けられた品格を備えた態度」「国際的視野」という8能力を位置づけ、これら能力を4年間の中で着実に身に付けることができる内容に工夫しました。

新カリキュラムの軸の一つである「地域医療連携能力」は、これを地域包括ケアシステムにおいて、人々の生活と健康の質を高めるための目標を、医師をはじめとする多職種と共有し、その目標に向かって連携できる能力、その中で看護専門職の果たす役割を理解し説明できる能力としました。そしてこの力を育むために、老年看護学、成人看護学、精神看護学、母性看護学、小児看護学、地域看護学、在宅看護学という看護専門領域が横断的に協力して構成する科目「看護対象論」を1年次に新設し、早い段階から地域のフィールドワークに出ながら、あらゆるライフステージにある人々を生活者として統合的に理解する機会を設けました。また2年次には「地域連携実習」として、人々の生活と健康の質を高めるための保健医療福祉システムと制度、人、場の繋がりを理解する機会を設けました。3年次以降の各専門領域の授業や実習では、この積み重ねを基盤とし、地域医療連携能力をさらに深めていけるような内容に整備しています。

いよいよ新しいカリキュラムは運用段階に入ります。教育成果を真摯に評価しながら、時代のニーズにこたえる資質の高い卒業生を数多く輩出していけるよう継続的に取り組んでまいります。ご指導とご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## The JIKEI News Flash

慈恵大学で開催された様々なイベントをご紹介します。

### 1月 新年挨拶交歓会

平成29年1月5日(木)に大学1号館講堂にて

新年挨拶交歓会が平成29年1月5日(木)に大学1号館講堂において開催されました。高木専務理事が司会で、栗原理事長ならびに松藤学長、各機関長(丸毛院長、伊藤院長、中村院長、東條院長)よりご挨拶がありました。

栗原理事長のご挨拶の中で西新橋キャンパス再整備計画、医療連携拡充、医療現場における国際化等が述べられ、新たな門出に相応しい新年挨拶交歓会となりました。

### 1月 平成28年度 退任記念講義・パーティー

大学1号館講堂にて記念講義を、夜には、  
ホテルオークラにて、パーティーが盛会に開催。

平成29年1月31日(火)、定年退任となる常岡寛教授(眼科学講座)、中山和彦教授(精神医学講座)、福田国彦教授(放射線医学講座)、相羽恵介教授(内科学講座・腫瘍・血液内科)の退任記念講義が大学1号館講堂(3階)で行われました。

その後、同じく定年退任となる山田尚教授(総合医科学研究センター・基盤研究施設・分子遺伝学)、酒田昭彦教授(病理学講座)、横田邦信教授(医療保険指導室)、落合和彦教授(産婦人科学講座)、大草敏史教授(内科学講座・消化器・肝臓内科)が紹介され、学長挨拶、記念品贈呈等が行われました。

同日夜にはホテルオークラ東京別館「アスコットホール」にて退任記念パーティーが盛会に開催されました。



## 2月 看護学科における e-ポートフォリオシステム を活用した教育

5名にe-ポートフォリオ優秀賞を授与

看護学科学学生の主体的学修態度の育成のために、平成25年度よりe-portfolioシステムを看護教育ならびに、学生のゴール&ビジョンの設定とリフレクションに活用しています。平成29年2月にe-ポートフォリオを4年間積極的に活用し学修した5名にe-ポートフォリオ優秀賞を授与しました。



## 3月 人命救助による 消防総監感謝状を授与

富山真由和さん  
奥山涼子さん  
田中昌哉さん



中央が富山真由和さん

(富山真由和さん)  
附属病院(本院)看護師富山真由和さんが平成28年12月26日、新橋駅の電車内で心肺停止状態で倒れていた人に遭遇し人命救助活動を行いました。本活動に対し平成29年1月20日、東京消防庁芝消防署長より消防総監感謝状が贈られました。

(奥山涼子さん)  
附属病院(本院)看護師奥山涼子さんが平成29年1月30日、新橋の飲食店にて心肺停止状態で倒れている人と遭遇し人命救助活動を行いました。本活動に対し平成29年3月3日、東京消防庁芝消防署長より消防総監感謝状が贈られました。



中左が田中昌哉さん、中右が奥山涼子さん

(田中昌哉さん)  
本学産婦人科学講座助教田中昌哉さんが浜松町駅において男性が倒れていたところに遭遇し人命救助活動を行いました。本活動に対し平成29年3月3日、東京消防庁芝消防署長より消防総監感謝状が贈られました。

## 3月 第92回医学科・ 第22回看護学科卒業式

中央講堂で行われる最後の卒業式で、  
医学科97名、看護学科60名が卒業



平成29年3月4日(土)午後1時30分から中央講堂に於いて第92回医学科・第22回看護学科卒業式が挙行されました。卒業生は医学科97名、看護学科60名でありました。音楽部管弦楽団が「威風堂々」を演奏する中、松藤学長を先頭に栗原理事長、宇都宮医学科長、北看護学科長、名誉教授、高橋同窓会長、片山父兄会長が入場され厳粛に卒業式が開始されました。国歌斉唱後、松藤学長より卒業生一人ひとりに卒業証書(学位記)が授与され、続いて慈大賞が野崎百合那さん(医学科)と中山未沙紀さん(看護学科)に授与されました。また、同窓会賞が高橋同窓会長より傳田竜之介君(医学科)と二葉夏実さん(看護学科)に、父兄会賞が片山父兄会長より濱野頌子さん(医学科)に授与され、更に日本私立看護系大学協会会長賞が、島村実希さん(看護学科)に授与されました。

次いで樋口一成記念杯については、運動部門(準硬式野球部・ゴルフ部)に記念の樋口杯が授与されました。その後、宇都宮医学科長、北看護学科長による学事報告、松藤学長による式辞、栗原理事長による祝辞、在校生代表による送辞、卒業生代表による謝辞が述べられ、学生歌斉唱の後、厳かなうちに中央講堂で行われる最後の卒業式を終了しました。

## 3月 慈恵看護専門学校卒業式

公益社団法人東京慈恵会総裁  
寛仁親王妃信子殿下御臨席のもと、  
65期生100名が卒業

平成29年3月11日(土)に中央講堂にて慈恵看護専門学校卒業式(65期生100名)が公益社団法人東京慈恵会総裁寛仁親王妃信子殿下御臨席のもと、盛大に挙行されました。



### 3月 4病院合同 災害対策訓練(総務課)

「熊本地震～発災後の様子と得られた教訓」をテーマにご講演もいただく

4病院合同災害対策訓練が平成29年3月23日に実施されました。4機関の防災に関する報告の後、同窓会熊本支部長で東熊本病院院長の永田壮一先生に「熊本地震～発災後の様子と得られた教訓」をテーマにご講演いただき、参加者からは好評を得られました。



### 4月 新入職員就任式

中央講堂で執り行われる最後の就任式、388名の新入職員が新しい一歩を踏み出す

平成29年4月1日(土)に中央講堂にて平成29年度新入職員就任式が執り行われました。中央講堂で執り行われる最後の就任式に388名の新入職員が参列し、大きな期待を胸に新しい一歩を踏み出しました。



### 4月 平成29年度医学部入学式

4月6日(木)午後2時より中央講堂にて  
医学科110名、看護学科60名

平成29年4月6日(木)午後2時より中央講堂において医学科・看護学科の入学式が厳粛に執り行われました。音楽部管弦楽団が奏でる「威風堂々」とともに松藤学長を先頭に、栗原理事長、宇都宮医学科長、北看護学科長、名誉教授、高橋同窓会長、片山保護者会長が入場し、開

会が宣せられました。入学者は医学科110名、看護学科60名でありました。国歌斉唱後、松藤学長の入学許可に続き、医学科入学生を代表して中川一磨君、看護学科入学生を代表して近藤亜美さんより宣誓が述べられました。続いて入学生および在校生に対して松藤学長より告辞が述べられ、次いで栗原理事長より、祝辞が述べられました。次いで、入学生を代表して医学科・望月詩織さんと看護学科・荻陽奈さんに記念品が贈呈され、学生歌斉唱の後、厳かなうちに中央講堂で行われる最後の入学式を終了しました。



#### 平成29年(2017)主な行事予定表

- |          |  |                  |  |
|----------|--|------------------|--|
| 7月22日(土) | 看護学科第1回オープンキャンパス(看護学科1階大講堂)                  | 10月12日(木)～13日(金) | 第134回成医会総会                               |
| 7月23日(日) | 看護学科第2回オープンキャンパス(看護学科1階大講堂)                  | 10月14日(土)        | 学祖高木兼寛先生墓参及び懇談会(午後3時30分中央棟前集合)           |
| 8月5日(土)  | 慈恵医大夏季セミナー 大学1号館講堂 午後4時                      | 10月15日(日)        | 高木兼寛先生記念日                                |
| 8月10日(木) | 医学科第1回オープンキャンパス(新大学2号館講堂・大学1号館講堂又は中央講堂) 午後1時 | 10月21日(土)        | 卒後50周年記念大学招待懇親会(昭和42年卒)(午後6時からプリンスホテル東京) |
| 8月12日(土) | 医学科第2回オープンキャンパス(新大学2号館講堂・大学1号館講堂又は中央講堂) 午後1時 | 10月28日(土)        | 第113回解剖諸霊位供養法会(午後1時から増上寺)                |
| 10月7日(土) | 同窓会支部長会議・学術連絡会議(午後3時30分から大学1号館講堂)            | 11月4日(土)         | 保護者会秋期総会(午後3時から大学1号館講堂) 懇親会(4階学生ホール)     |
|          |  | 12月27日(水)        | 教授・准教授懇談会(午後6時から 帝国ホテル 光の間)              |

## 乳腺・甲状腺センターについて



## 他課と協力し、最も効果的、安全と考えられる治療方法を提供

乳腺・甲状腺センター センター長 武山 浩

### はじめに

この度2017年4月よりゆるやかなセンター化の一環として、附属病院に乳腺・甲状腺センターが設置されました。

当センターでは最新の情報と知識を反映し、乳腺疾患と甲状腺、副甲状腺(上皮小体)疾患に対して乳腺内分泌外科、耳鼻科、腫瘍血液内科、内分泌代謝内科、放射線科、形成外科、婦人科、精神科などと協力体制を構築し、現在最も効果的かつ安全と考えられる治療方法を提供致しております。またほとんどの標榜科を持つ大学病院の特性を生かし、合併症(糖尿病、心臓疾患、脳梗塞、腎臓病など)をお持ちの乳癌、甲状腺癌、副甲状腺腫瘍の患者様に対してもそれぞれの専門科との協力体制を整えて治療を行っております。

このように当センターでは慈恵医大附属病院の持てる総力をフル稼働して治療を求められる患者様とご家族の期待にお応えしたいと考えております。

### 乳腺疾患

乳癌は手術だけでなく、抗がん剤、抗ホルモン剤などの薬物療法、放射線治療などを適宜組み合わせることで治療を行ういわゆる集学的治療が最も効果的であることがわかっております。当院では、乳腺外科専門医、乳房再建を担当する形成外科医、抗がん剤治療を担当する腫瘍内科医、専門薬剤師、放射線治療医、治療後の妊娠を可能とするため受精卵凍結を担当する生殖医療専門医(産婦人科医)、治療時の口腔ケアのための口腔外科

専門医(歯科医)、乳癌に対する遺伝子相談を担当、専門とする医師・看護師などで治療チームを組織しています。

治療チームは毎週行われる合同ミーティングを通して個々の患者様の治療方法を話し合い、患者様にはこれらの十分に討議された治療の選択肢をすべて説明したのち、それぞれにあった最良の治療方法を提示しています。

### 甲状腺、副甲状腺疾患

甲状腺癌は、比較的若い、女性に発症しやすい傾向があり、治療としては手術で癌と周囲のリンパ節を摘出することが第一選択となります。その予後は良好で、手術後10年生存率は約90%以上という生物学的特性があります。

一方甲状腺癌で再発転移が生じた場合、治療方法は手術可能な頸胸部リンパ節などに対しては外科的摘出を、また摘出が困難である肺、骨転移などには放射線療法をいたします。放射線療法は乳癌と同様に、外部から放射線を転移部位に照射する外照射療法と、甲状腺癌に特有なヨード(I)に放射性物質を結合させた<sup>131</sup>Iを服用していただく内照射療法を組み合わせることで有効とさせております。この内照射療法が可能な施設は東京都では当大学附属病院を含めて2-3箇所しかないのが現状であります。当センターではこの希少な施設を利用して積極的に甲状腺癌転移症例の治療を行っております。

## The JIKEI Notice [お知らせ]

### 行事

- ▶ 平成29年度大学院医学研究科(看護学専攻修士課程)入学試験が次のとおり行われた。  
平成28年9月18日(日) 合格者 9名
- ▶ 平成29年度大学院医学研究科(博士課程)入学試験が次のとおり行われた。  
平成28年10月1日(土) 第一次募集 合格者 24名
- ▶ 10月6日(木)、10月7日(金)の両日、第133回成医会総会が開催された。
- ▶ 10月8日(土)、理事長、学長をはじめ教授会代表、学生会代表により学祖 高木兼寛先生の墓参が行われた。
- ▶ 10月28日(金)午後1時より、芝増上寺に於いて第112回解剖諸霊位供養法会が行われた。
- ▶ 平成28年度第4回学位記授与式が11月28日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。  
授与された者 大学院修了者 3名  
論文提出者 10名  
計 13名
- ▶ 全機関同時開催(テレビ会議システム)による平成29年新年挨拶交歓会が、1月5日(木)午後4時より大学1号館講堂(3階)において開催された。
- ▶ 茅島 江子看護学科教授の最終講義が、1月14日(土)午後4時より看護学科1階大講堂において行われた。
- ▶ 常岡 寛教授、中山 和彦教授、福田 国彦教授、相羽 恵介教授の退任記念講義が、1月31日(火)午後2時より大学1号館講堂3階において行われた。
- ▶ 平成28年度第5回学位記授与式が2月27日(月)午後2時30分、学長応接室において挙行された。  
授与された者 大学院修了者 7名  
論文提出者 6名  
計 13名
- ▶ 第92回医学科卒業式、第22回看護学科卒業式が次の通り挙行された。  
平成29年3月4日(土) 医学科卒業生 97名  
看護学科卒業生 60名
- ▶ 東日本大震災六周年追悼式の当日における弔意が3月11日(土)弔旗を掲揚し、午後2時46分を期して黙とう1分間を実施した。
- ▶ 平成28年度第6回学位記授与式が3月13日(月)午後2時30分より、学長応接室において挙行された。  
授与された者 大学院修了者 4名  
論文提出者 8名  
計 12名
- ▶ 第7回医学研究科看護学専攻修士課程修了式が、3月21日(火)午前10時より大学管理棟9階カンファレンスBにおいて挙行された。
- ▶ 平成29年度慈恵看護専門学校、慈恵第三看護専門学校、並びに慈恵柏看護専門学校合同入学式が、次の通り挙行された。  
平成29年4月5日(水) 午前10時より中央講堂
- ▶ 平成29年度入学式が、次の通り挙行された。  
平成29年4月6日(木) 午後2時より中央講堂

## 公示

### ▶平成28年10月1日

植田 真一郎氏に、客員教授を委嘱する  
濱谷 茂治講師に、准教授を命ずる

### ▶平成28年11月1日

高橋 徳志子講師に、准教授を命ずる  
白石 貢一講師に、准教授を命ずる  
矢野 真吾講師に、准教授を命ずる  
門倉 真人講師に、准教授を命ずる  
野村 耕司講師に、准教授を命ずる

### ▶平成28年11月22日

岩崎義隆営繕員(法人事務局財務部施設課・附属柏病院出向)は、医学教育等関係業務功労者として文部科学大臣より表彰された。

### ▶平成28年12月1日

朝比奈 昭彦准教授に、教授を命ずる  
鹿瀬 陽一講師に、准教授を命ずる  
清野 洋一講師に、准教授を命ずる  
(特任期間 平成28年12月1日～平成31年3月31日)

### ▶平成29年1月1日

坂本 優准教授に、客員教授を委嘱する  
宮崎 陽一准教授に、教授を命ずる  
内山 眞幸准教授に、教授を命ずる  
山田 恭輔准教授に、教授を命ずる  
鈴木 昭広准教授に、教授を命ずる  
池田 雅人講師に、准教授を命ずる

### ▶平成29年1月26日

富山 真由和看護師(附属病院)は平成28年12月26日、新橋駅にて、心肺停止状態に陥った男性を適切な救命処置を行い救命した功労に対し、東京消防庁消防総監より感謝状が贈られました。本学では、就業規則第96条「その他表彰に値する善行のあった者」に基づき、理事長より表彰された。

### ▶平成29年2月1日

勝沼 俊雄准教授に、教授を命ずる  
木下 智樹准教授に、教授を命ずる  
(特任期間 平成29年2月1日～平成31年3月31日)  
延山 嘉眞講師に、准教授を命ずる

### ▶平成29年3月1日

橋本 尚詞特任教授に、教授を命ずる  
石田 厚准教授に、教授を命ずる  
(特任期間 平成29年3月1日～平成31年3月31日)  
草刈 洋一郎講師に、准教授を命ずる  
戸谷 直樹講師に、准教授を命ずる  
柴 琢也講師に、准教授を命ずる  
須永 宏講師に、准教授を命ずる

### ▶平成29年3月15日

田中 昌哉助教(産婦人科学講座)は、平成29年1月21日、浜松町駅にて、心肺停止状態に陥った乗客を適切な救命処置を行い救命した功労に対し、東京消防庁消防総監より感謝状が贈られました。本学では、就業規則第96条「その他表彰に値する善行のあった者」に基づき、理事長より表彰された。

奥山 涼子看護師(附属病院)は、平成29年1月30日、飲食店内にて、心肺停止状態に陥った男性を適切な救命処置を行い救命した功労に対し、東京消防庁消防総監より感謝状が贈られました。本学では、就業規則第96条「その他表彰に値する善行のあった者」に基づき、理事長より表彰された。

### ▶平成29年4月1日

ミヤケ ットム氏に、客員教授を委嘱する  
矢野 真吾准教授に、内科学講座 腫瘍・血液内科担当教授を命ずる  
中野 匡准教授に、眼科学講座担当教授を命ずる  
尾尻 博也准教授に、放射線医学講座担当教授を命ずる  
繁田 雅弘氏に、精神医学講座担当教授を命ずる  
西岡 真由美氏に、教授を命ずる  
渡部 文子准教授に、教授を命ずる  
清川 貴子特任教授に、教授を命ずる  
忽滑谷 和孝准教授に、教授を命ずる  
宮田 市郎准教授に、教授を命ずる  
三尾 寧准教授に、教授を命ずる  
鳥海 弥寿雄准教授に、教授を命ずる  
(特任期間 平成29年4月1日～平成32年3月31日)  
石田 勝大講師に、准教授を命ずる  
西脇 嘉一講師に、准教授を命ずる  
(特任期間 平成29年4月1日～平成32年3月31日)  
有泉 光子講師に、准教授を命ずる  
(特任期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日)

黒田 徹講師に、准教授を命ずる  
(特任期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日)  
細坂 泰子看護学科准教授に、看護学科教授を命ずる  
小谷野 康子氏に、看護学科教授を命ずる  
福田 美和子氏に、看護学科准教授を命ずる  
芦田 ルリ教授に、国際交流センター長を命ずる  
鳥海 弥寿雄教授に、医療保険指導室長を命ずる  
繁田 雅弘氏に、附属4病院精神神経科総括責任者を命ずる  
中野 匡氏に、附属4 病院眼科総括責任者を命ずる  
尾尻 博也氏に、附属4病院画像診断部総括責任者を命ずる  
繁田 雅弘氏に、附属病院精神神経科診療部長を命ずる  
衛藤 謙氏に、附属病院下部消化管外科診療部長を命ずる  
中野 匡氏に、附属病院眼科診療部長を命ずる  
尾尻 博也氏に、附属病院画像診断部診療部長を命ずる  
上園 晶一氏に、附属病院ペインクリニック診療部長(兼任)を命ずる

新美 茂樹氏に、葛飾医療センター産婦人科診療部長を命ずる  
原田 徹氏に、葛飾医療センター病院病理部診療部長を命ずる  
宮崎 陽一氏に、附属第三病院腎臓・高血圧内科診療部長を命ずる  
小井戸 薫雄氏に、附属柏病院消化器・肝臓内科診療部長代行を命ずる  
安保 雅博氏に、附属柏病院リハビリテーション科診療部長(兼任)を命ずる  
石川 智久氏に、附属病院患者支援・医療連携センター長を命ずる  
附属病院に乳腺・甲状腺センターを設置する  
附属病院消化管外科を上部消化管外科及び下部消化管外科に改組する  
附属柏病院消化管外科を上部消化管外科及び下部消化管外科に改組する

平成29年度 互助会役員

会長 高木 敬三(専務理事)

役名	甲種役員(職員側)	乙種役員(大学側)
副会長	福田 徹朗 (法人)	加藤 一人 (法人)
幹事	川崎 基弘 (附属病院)	川久保 孝 (附属病院)
委員	井草 誠彦 (大学)	谷口 郁夫 (大学)
	下枝 友紀子(附属病院) 新任	大野 岩男 (大学)
	四方 公亮 (葛飾医療センター)	小澤 かおり (附属病院)
	土屋 雅貴 (葛飾医療センター)	横山 秀彦 (附属病院)
	榭 茂典 (第三病院)	松尾 浩一 (附属病院)
	滝川 祐 (第三病院)	伊藤 敬夫 (葛飾医療センター)
監査	齋藤 亮 (柏病院)	峰 隆志 (第三病院)
	日野 陽介 (柏病院)	相馬 陽一 (柏病院)
	永倉 健司 (附属病院)	菊地 譲 (大学)

所属は平成29年4月1日現在

## 学事

### ▶ 大学院修了者

28.10.12	西條 広起		
28.11.30	余郷 麻希子		
28.12.14	林 和美	加藤 美香	
28.12.28	木村 正		
29.1.11	入井 俊昭	新見 昌央	
29.1.25	小林 雅邦		
29.2.8	林 光葉		
29.2.22	渡邊 隆将	野田 真継	
28.12.14	片桐 聡		
29.3.22	松田 真一	林 毅	友野 義晴
29.4.12	菊池 荘太		

### ▶ 学位論文通過者

28.10.12	満山 喜宣	関 好孝	
28.11.9	山川 健太郎		
28.11.30	原田 大輔	小山 大河	
28.12.14	小川 俊平		
28.12.28	橋本 典生	葛西 梢	
29.1.11	内山 威人		
29.1.25	落合 結介	田畑 龍治	岩崎 弘
	青木 亮		
29.2.8	沖野 慎治	小野 英利奈	
29.2.22	中田 泰之	長谷川 雄一	
29.3.8	眞鍋 貴子	日下 朗	好川 謙一
	五十嵐 隆朗	大内 厚太郎	石井 敬人
	山内 英臣		
29.3.22	古西 英央	宮崎 雄介	伊藤 怜司
29.4.12	清水 勸一朗	福島 東浩	

## 訃報

- ▶ 五十嵐 亜由美事務員(附属病院事務部 業務課)は、10月2日逝去されました。
- ▶ 伊丹 康人客員教授(整形外科科学講座)は、12月22日逝去されました。
- ▶ 丸毛 啓史教授(整形外科科学講座・附属病院院長)の御尊父様、丸毛 英二名誉教授(形成外科学講座)は、1月27日逝去されました。
- ▶ 花岡 炳雄元教授(国領校 生物学)が、2月27日逝去されました。

## 東京慈恵会公報

### 教職員人事

#### (慈恵看護専門学校)

平成29年4月1日	昇 級	7等級・看護教員	河野 直美	6等級・看護教員
		4等級・看護教員	柏倉 宏美	3等級・看護教員
		4等級・看護教員	小川 朋子	3等級・看護教員
	転 入	5等級・看護教員	石井 麻子	附属病院 看護師
		2等級・事務員	平山 千鶴	リハビリテーション医学講座
	新 任	看護教員	小林 奈知	
平成29年3月31日	退 任	看護教員	増井 孝子	看護教員

### 行事

- 平成28年11月15日(火) 公益社団法人東京慈恵会理事会が開催された。
- 平成28年12月 3日(土) 慈恵看護専門学校戴帽式が挙行された。 1年生(67期生) 92名
- 平成29年 1月27日(金) 東京都福祉保健局医療政策部による平成28年度看護師養成所に関する指導調査(実地指導)が実施された。
- 平成29年 3月11日(土) 慈恵看護専門学校卒業式が挙行された。 卒業生 100名
- 平成29年 3月21日(火) 東京慈恵会理事会、評議員会、定期総会が開催された。
- 平成29年 4月 5日(水) 慈恵看護専門学校入学式が挙行された。 入学生(68期生)101名

## 補助金・助成金

### 平成29年度 科学研究費助成事業 申請・採択状況一覧

種目	29年度			
	新規申請件数	採択件数		内定件数合計
	新規内定件数	継続内定件数		
新学術領域研究	19	1	0	1
基盤研究(S)	1	0	0	0
基盤研究(A)	5	2	0	2
基盤研究(B)	12	1	4	5
基盤研究(C)	137	37	53	90
挑戦的萌芽研究			11	11
若手研究(A)	2	0	3	3
若手研究(B)	91	17	23	40
合計	267	58	94	152

注) ①内定件数は平成29年4月1日時点。なお、4月1日時点の転出者は含まれているが、4月1日付転入者は除く。  
②応募時期・内定時期の異なる「研究活動スタート支援」「特別研究員奨励費」「挑戦萌芽(開拓)」「萌芽」は除く。

### 私立大学戦略的 研究基盤形成事業 (研究期間5年)

採択年度	氏名(所属・職名)	テーマ
平成25年度	加藤総夫(神経科学研究部・教授)	痛みの苦痛緩和を目指した 集学的脳医科学研究拠点の形成

# 平成28年度決算

## 1、はじめに

平成28年度は、既存建物並びに医療機器等の経常的な修繕と更新に加えて、西新橋キャンパス再整備に必要な資金を賄える決算を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力により、基本金組入前当年度収支差額(利益)は予算を上回る結果となりました。

## 2、資金収支計算書

施設・設備関係支出は56億円でした。主な内容は、医療器械16億円、建物13億円、建設仮勘定11億円、ソフト

ウェア9億円、教具・一般備品6億円でした。

前年度繰越金は536億円でしたが次年度繰越金は621億円となり、繰越金は85億円増加しました。

## 3、事業活動収支計算書

収入の部は、医療収入の増加により前年度比15億円増加の1,013億円となりました。

支出の部は、光熱水費・諸経費等の経費は抑えられたものの、医療経費・人件費・委託費等が増加したため、前年度比では18億円増加の963億円となりました。

この結果、基本金組入前当年度収支差額(利益)は50億円となり、前期比では減益となったものの、予算は達成することができました。

## 4、貸借対照表

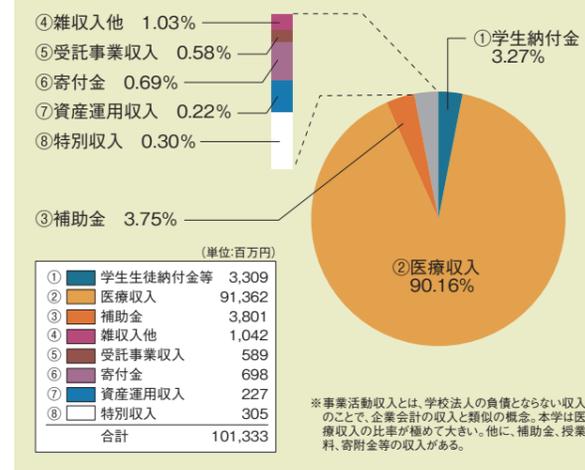
純資産の部の増加50億円と長期借入金金の増加137億円を主要因に190億円の資金が出来ましたが、現金・預金として+85億円が、有価証券として+108億円が内部留保されました。

純資産の部の合計は1,440億円で、自己資金比率は68%となりました。

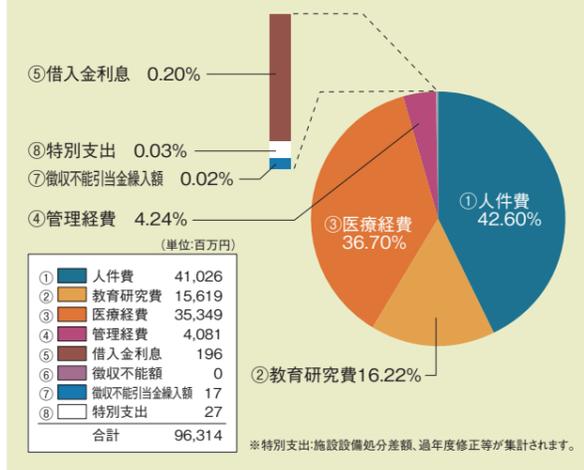
## 5、決算開示方法について

平成16年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

平成28年度 事業活動収入の構成



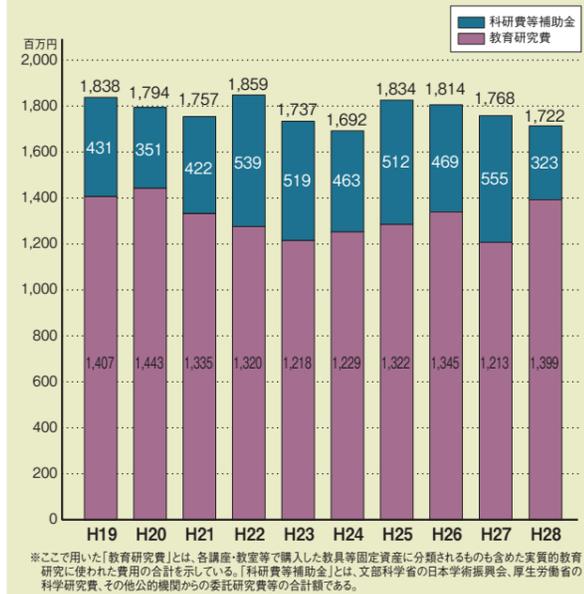
平成28年度 事業活動支出の構成



事業活動収入の推移(H19~H28)



教育研究費の推移(H19~H28)



平成28年度資金収支計算書

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	40,699,992,403	学生生徒納付金収入	3,151,940,000
教育研究経費支出	45,616,729,948	手数料収入	157,076,700
教育研究費支出	11,872,256,392	寄付金収入	851,159,221
医療経費支出	33,744,473,556	補助金収入	3,817,278,272
管理経費支出	3,431,351,095	国庫補助金	3,507,359,303
		地方公共団体補助金	309,918,969
		その他の補助金	0
		事業収入	91,950,286,296
		医療収入	91,361,625,711
		受託事業収入	588,660,585
借入金等支払利息支出	195,614,327	受取利息・配当金収入	227,138,354
借入金等返済支出	3,241,800,000	資産売却収入	5,600,000
施設関係支出	2,441,132,489	雑収入	1,155,752,507
設備関係支出	3,146,964,530	借入金収入	16,900,000,000
資産運用支出	15,804,965,000	前受金収入	647,690,714
その他支出	16,662,563,338	その他の収入	21,339,747,005
資金支出調整勘定	△ 16,062,820,993	資金収入調整勘定	△ 16,537,914,144
期末未払金	△ 16,062,820,993	期末未収入金	△ 15,877,973,430
		前期末前受金	△ 659,940,714
次年度繰越支払資金	62,050,345,879	前年度繰越支払資金	53,562,883,091
支出の部合計	177,228,638,016	収入の部合計	177,228,638,016

平成29年6月文部科学省へ提出

平成28年度貸借対照表

平成29年3月31日現在

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	132,640,628,391	118,269,350,306	14,371,278,085
有形固定資産	100,463,255,509	101,383,867,024	△ 920,611,515
土地	6,731,341,407	6,731,341,407	0
建物	69,645,634,164	71,127,901,626	△ 1,482,267,462
構築物	293,953,443	317,813,879	△ 23,860,436
教育研究用機器備品	11,504,709,513	11,572,589,516	△ 67,880,003
管理用機器備品	2,560,312,111	2,767,452,927	△ 207,140,816
図書	2,926,275,512	2,904,628,594	21,646,918
車両	7,335,011	13,271,727	△ 5,936,716
建設仮勘定	6,770,532,440	5,925,705,440	844,827,000
放射性同位元素	23,161,908	23,161,908	0
特定資産	1,600,000,000	1,600,000,000	0
退職給付引当特定資産	1,600,000,000	1,600,000,000	0
その他の固定資産	30,577,372,882	15,285,483,282	15,291,889,600
施設利用権	415,832,460	421,382,460	△ 5,550,000
有価証券	28,125,677,220	13,321,227,220	14,804,450,000
長期貸付金	433,743,771	440,382,689	△ 6,638,918
ソフトウェア	1,602,119,431	1,102,490,913	499,628,518
流動資産	78,083,937,690	73,464,651,853	4,619,285,837
現金預金	62,050,345,879	53,562,883,091	8,487,462,788
未収入金	15,713,140,094	15,691,804,461	21,335,633
貯蔵品	94,214,613	91,324,134	2,890,479
有価証券	0	3,999,485,000	△ 3,999,485,000
仮払金	226,237,104	119,155,167	107,081,937
資産の部合計	210,724,566,081	191,734,002,159	18,990,563,922

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	47,902,204,065	35,188,071,147	12,714,132,918
長期借入金	26,301,150,000	13,448,600,000	12,852,550,000
退職給付引当金	18,694,049,661	18,367,892,761	326,156,900
長期未払金	2,907,004,404	3,371,578,386	△ 464,573,982
流動負債	18,862,725,637	17,605,181,544	1,257,544,093
短期借入金	1,772,450,000	966,800,000	805,650,000
未払金	16,059,898,513	15,759,421,866	300,476,647
前受金	647,690,714	659,940,714	△ 12,250,000
預り金	381,531,410	217,822,464	163,708,946
保証金	1,155,000	1,196,500	△ 41,500
負債の部合計	66,764,929,702	52,793,252,691	13,971,677,011
第1号基本金	158,663,760,481	150,103,559,476	8,560,201,005
第4号基本金	7,202,715,563	7,584,968,150	△ 382,252,587
基本金の部合計	165,866,476,044	157,688,527,626	8,177,948,418
翌年度繰越消費支出超過額	21,906,839,665	18,747,778,158	3,159,061,507
消費収支差額の部合計	△ 21,906,839,665	△ 18,747,778,158	△ 3,159,061,507
純資産の部合計	143,959,636,379	138,940,749,468	5,018,886,911
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	210,724,566,081	191,734,002,159	18,990,563,922

平成29年6月文部科学省へ提出

平成28年度事業活動収支計算書

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
教育活動支出	41,026,149,303	教育活動収入	3,151,940,000
人件費	50,968,007,006	学生生徒納付金	157,076,700
教育研究経費	15,619,418,401	手数料	697,684,221
教育研究費	35,348,588,605	寄付金	3,800,924,272
医療経費	4,080,818,307	経常費等補助金	91,950,286,296
管理経費	0	事業収入	91,361,625,711
		医療収入	588,660,585
		受託事業収入	1,042,214,914
徴収不能額	16,673,289	雑収入	913,060
徴収不能引当金繰入額	96,091,647,905	徴収不能引当金戻入額	100,800,126,403
教育活動支出計	96,091,647,905	教育活動収入計	4,708,478,498
教育活動外支出	195,614,327	教育活動外収入	227,138,354
借入金等利息	195,614,327	その他の受取利息・配当金	227,138,354
教育活動外支出計	195,614,327	教育活動外収入計	31,524,027
		経常収支差額	4,740,002,525
特別支出	19,986,074	特別収入	0
資産処分差額	6,629,028	資産売却差額	305,499,488
その他の特別支出		その他の特別収入	174,694,835
過年度修正額		施設設備寄付金	16,354,000
		施設設備補助金	114,450,653
		過年度修正額	305,499,488
特別支出計	26,615,102	特別収入計	278,884,386
		特別収支差額	△ 8,560,201,005
基本金組入前当年度収支差額	5,018,886,911	基本金組入額合計	△ 3,541,314,094
		当年度収支差額	△ 18,747,778,158
		前年度繰越収支差額	382,252,587
		基本金取崩額	△ 21,906,839,665
		翌年度繰越収支差額	
事業活動支出計	96,313,877,334	事業活動収入計	101,332,764,245

平成29年6月文部科学省へ提出

## 平成29年度予算について

### 1、予算編成方針

予算編成方針は以下とした。

- ① 既存の債務返済と平成29年度に予定される西新橋キャンパス再整備を含めた設備投資計画を、遅滞なく遂行できる予算とする。
- ② 当年度収支差額(利益)目標を32.3億円以上とする。平成28年度の当年度収支差額予算46.1億円と比べると減益予算となるが、要因は大学本館並びに大学2号館取壊しに伴う除却損が約15億円見込まれる為である。

### 2、平成29年度予算概要

#### (1) 事業活動収支計算書

- ・ 当年度収支差額予算は30.0億円とした。結果的に予算編成方針の当年度収支差額▲2.3億円となったが、要因は大学2号館取壊しに伴う事前調査でアスベストの存在が判明し、この除去費用として2.5億円が計上された為である。
- ・ 収入合計は、平成28年度予算比+17.2億円(+1.7%)の1,037.9億円。この内、医療収入が同比+18.5億円(+2.0%)の939.0億円と、大きく伸びる予算である。
- ・ 支出合計は、平成28年度予算比+33.3億円(+3.4%)

の1,007.9億円と大きく増加する。主な要因は、医療収入増加に伴う医療経費の増加(平成28年度予算比+11.7億円)に加えて、建物取壊しに伴う資産処分差額の増加(同比+14.8億円)、西新橋再開発に伴う諸経費の増加(同比+5.3億円)である。

#### (2) 資金収支計算書

##### ① 設備投資

- ・ 固定資産投資金額が171億円(平成28年度予算比+99.9億円)と大幅に増加する見込。
- ・ 主な要因は、西新橋再整備を中心とした建設仮勘定支出が111.4億円(同比+92.5億円)、本院電子カルテ導入に伴うソフトウェア支出が16.7億円(同比+7.6億円)である。尚、医療器械については平成28年度予算並みの15.7億円を計画している。

##### ② 資金繰り

- ・ 教育活動資金収支差額で108億円の余剰となるが、上述の通り固定資産投資の増加等により、施設設備活動資金収支差額が173億円のマイナスとなる。
- ・ その他活動の資金収支差額は、借入金返済18億円と有価証券投資50億円等により67億円のマイナスとなり、結果的に合計132億円の資金支出超過となるが、これは預金の取崩しにより賄う計画である。

平成29年度資金収支予算書 (単位:千円) 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

支出の部				収入の部			
科目	平成28年度	平成29年度	対前年比較	科目	平成28年度	平成29年度	対前年比較
人件費支出	40,979,042	41,176,512	197,470	学生生徒納付金収入	3,120,970	3,185,480	64,510
教育研究経費支出	45,941,513	47,297,886	1,356,373	手数料収入	179,869	179,586	▲283
教育研究費支出	12,902,850	13,119,602	216,752	寄付金収入	995,649	902,572	▲93,077
医療経費支出	33,038,663	34,178,284	1,139,621	補助金収入	3,839,500	3,814,184	▲25,316
管理経費支出	3,698,149	3,913,689	215,540	国庫補助金	3,524,070	3,517,493	▲6,577
				地方公共団体補助金	312,430	293,691	▲18,739
				その他の補助金	3,000	3,000	0
借入金等支払利息支出	279,500	240,000	▲39,500	事業収入	92,703,727	94,599,922	1,896,195
借入金等返済支出	3,246,800	3,672,450	425,650	医療収入	92,049,229	93,900,008	1,850,779
施設関係支出	3,707,116	12,512,172	8,805,056	受託事業収入	654,498	699,914	45,416
設備関係支出	3,417,215	4,603,572	1,186,357	受取利息・配当金収入	195,183	270,381	75,198
資産運用支出	3,500,000	5,000,000	1,500,000	雑収入	829,058	835,964	6,906
その他支出	16,289,524	16,662,564	373,040	借入金等収入	16,900,000	1,900,000	▲15,000,000
[予備費]	680,000	700,000	20,000	前受金収入	663,541	647,691	▲15,850
資金支出調整勘定				その他の収入	16,320,361	16,303,334	▲17,027
期末未払金	▲15,770,308	▲16,062,820	▲292,512	資金収入調整勘定	▲10,663,541	▲10,647,691	15,850
次年度繰越支払資金	53,562,883	62,050,345	8,487,462	期末未収入金	▲10,000,000	▲10,000,000	0
支出の部合計	159,531,434	181,766,370	22,234,936	前期末前受金	▲663,541	▲647,691	15,850
				前年度繰越支払資金	49,607,951	53,562,883	3,954,932
				収入の部合計	174,692,267	165,554,305	▲9,137,962

平成29年度事業活動収支予算書 (単位:千円) 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

支出の部				収入の部			
科目	平成28年度	平成29年度	対前年比較	科目	平成28年度	平成29年度	対前年比較
教育活動支出				教育活動収入			
人件費	41,239,270	41,334,385	95,115	学生生徒納付金	3,120,970	3,185,480	64,510
教育研究経費	51,310,821	53,049,408	1,738,587	手数料	179,869	179,586	▲283
教育研究経費	16,658,456	17,223,619	565,163	寄付金	839,062	732,265	▲106,797
医療経費	34,652,365	35,825,789	1,173,424	経常費等補助金	3,839,500	3,814,184	▲25,316
管理経費	4,356,303	4,630,965	274,662	付随事業収入	92,703,727	94,599,922	1,896,195
徴収不能額等	260,000	50,000	▲210,000	医療収入	92,049,229	93,900,008	1,850,779
教育活動支出計	97,166,394	99,064,758	1,898,364	受託事業収入	654,498	699,914	45,416
				雑収入	1,029,058	835,964	▲193,094
教育活動外支出				教育活動収入計	101,712,186	103,347,401	1,635,215
借入金等利息	279,500	240,000	▲39,500	教育活動収支差額	4,545,792	4,282,643	▲263,149
教育活動外支出計	279,500	240,000	▲39,500				
教育活動外収支差額	▲84,317	30,381	114,698	教育活動外収入			
				その他の受取利息・配当金	195,183	270,381	75,198
特別支出				教育活動外収入計	195,183	270,381	75,198
資産処分差額	5,000	1,481,086	1,476,086	教育活動外収支差額	▲84,317	30,381	114,698
その他の特別支出	0	0	0	経常収支差額	4,461,475	4,313,024	▲148,451
特別支出計	5,000	1,481,086	1,476,086				
				特別収入			
基本金組入前当年度収支差額	4,613,062	3,002,245	▲1,610,817	資産売却差額	0	0	0
				その他の特別収入	156,587	170,307	13,720
				施設設備寄付金	156,587	170,307	13,720
				施設設備補助金	0	0	0
				特別収入計	156,587	170,307	13,720
				特別収支差額	151,587	▲1,310,779	▲1,462,366
				基本金組入額合計	▲3,204,322	0	3,204,322
				当年度収支差額	1,408,740	3,002,245	1,593,505
				前年度繰越収支差額	▲19,271,676	▲18,747,778	523,898
				基本金取崩額	0	1,702,801	1,702,801
				翌年度繰越収支差額	▲17,862,936	▲14,042,732	3,820,204
事業活動支出計	97,450,894	100,785,844	3,334,950	事業活動収入計	102,063,956	103,788,089	1,724,133

(参考)

## 生涯学習・公開セミナー等

最新情報はこちら



### 慈恵医大生涯学習センター

**慈恵医大 生涯学習セミナー**  
月例セミナーと夏季セミナーを開催し、受講者には「日本医師会生涯教育制度参加証」を交付します。

#### 月例セミナー

- 開催日時 第2土曜日(休日を除く)  
16:00~18:00(但し、1月、8月、10月、12月を除く)
- 場所 附属病院(本院)  
中央棟8階会議室

第241回	
月日	平成29年7月8日(土)
テーマ	低侵襲大動脈弁置換術の現状と将来展望
演者	心臓外科 坂東 興 教授

第242回	
月日	平成29年9月9日(土)
テーマ	脳卒中治療アップデート
演者	脳神経外科 石橋 敏寛 准教授

第243回	
月日	平成29年11月11日(土)
テーマ	炎症性腸疾患の診断と最適な治療選択
演者	消化器・肝臓内科 猿田 雅之 教授

第244回	
月日	平成30年2月10日(土)
テーマ	乾癬性関節炎の診断と治療
演者	皮膚科 中川 秀己 教授

第245回	
月日	平成30年3月10日(土)
テーマ	誤嚥性肺炎について
演者	呼吸器内科 中山 勝敏 准教授

注)内容を変更することもあります。

#### 夏季セミナー

- 開催日時 平成29年8月5日(土)  
16:00~18:30
  - 場所 東京慈恵会医科大学  
大学1号館講堂(3階)
  - テーマ 見逃せない!  
めまいと頭痛のアップデート
- (主催) 慈恵医大生涯学習センター  
(共催) 慈恵医大同窓会、慈恵医師会、港区医師会  
(企画) 慈恵医大生涯学習委員会

お問合せ先:生涯学習センター  
TEL : 03-3433-1111(大代表)内線2634

### 東京慈恵会医科大学

【国領キャンパス】  
看護学科主催 公開講座

第23回	
月日・時間	平成29年9月21日(木) 14:00~16:00(※2)
場所	看護学科1階 大講堂
テーマ	高齢者のスキンケア(仮)
演者	看護管理学 永野 みどり 教授

お問合せ先:看護学科 学事課  
TEL : 03-3430-8686(自動オペレーター)内線2775

### 附属病院(本院)

**みんなの健康教室**  
(共催:NHK放送博物館・東京慈恵会医科大学)  
● 開催時間 13:30~15:15  
● 場所 NHK放送博物館 4F メディア・ラボ

第2回	
月日	平成29年7月8日(土)
テーマ	正しく知れば怖くない「糖尿病の診断と治療」
演者	糖尿病・代謝・内分泌内科 川浪 大治 先生

第3回	
月日	平成29年9月16日(土)
テーマ	消化管がんの早期発見・早期治療の最前線 消化管がん死亡撲滅をめざして
演者	内視鏡科 炭山 和毅 先生

第4回	
月日	平成29年11月11日(土)
テーマ	健診で見つかる心電図異常: 心房細動の診断と治療
演者	循環器内科 山根 禎一 先生

第5回	
月日	平成30年1月13日(土)
テーマ	健診での肝機能障害・・・深く忍び寄る肝臓病
演者	消化器・肝臓内科 鳥巢 勇一 先生

第6回	
月日	平成30年3月10日(土)
テーマ	健診受診後の有所見 自己管理 二次健診の重要性
演者	新橋健診センター 伊藤 恭子 先生

お問合せ先:患者支援・医療連携センター 医療連携室  
TEL:03-5400-1202(直通)

### 市民公開講座

第22回	
月日・時間	平成29年8月5日 10:00~12:00
場所	看護専門学校1階
テーマ	心臓蘇生PUSHコース

第23回	
月日・時間	平成29年10月14日 13:30~14:30
場所	南講堂
テーマ	心臓蘇生PUSHコース

第24回	
月日・時間	平成29年12月2日 12:30~13:30
場所	南講堂
テーマ	心臓蘇生PUSHコース

お申し込み・お問合せ先:管理課  
TEL:03-3433-1111(大代表)  
管理課内線5150  
救急医学講座内線3115

### 葛飾医療センター

**公開セミナー**  
● 開催時間 14:00~15:30  
● 場所 葛飾医療センター 5階講堂

第47回	
月日	平成29年9月9日(土)
テーマ	胃痛について

第48回	
月日	平成30年2月10日(土)
テーマ	認知症を知る ―地域で支える認知症―

お問合せ先:管理課  
TEL : 03-3603-2111(大代表)内線5911

### 第三病院

**第80回 公開健康セミナー**  
● 開催日時 平成29年9月9日(土)  
14:00~15:30  
● 場所 第三看護専門学校6階 大教室

テーマ	中高年女性の婦人科疾患と健康維持
演者	産婦人科 磯西 成治 診療部長

お問合せ先:管理課  
TEL : 03-3480-1151(大代表)内線3712

### 柏病院

平成29年度地域がん診療連携拠点病院事業  
市民公開講座

● 開催日時 平成29年9月9日(土)  
14:00~16:30  
● 場所 慈恵柏看護専門学校講堂

第19回	
テーマ	血液がんのお話 ～血液がんの見つけ方・治し方
演者	腫瘍・血液内科 鈴木 一史 先生・横山 洋紀 先生 看護部 渡邊 ゆう子 看護師

お問合せ先:業務課  
TEL : 04-7164-1111(大代表)内線2152

### 慈恵医師会

**慈恵医師会産業医研修会**  
平成30年度は、6月に開催を予定しています。  
(主催)慈恵医師会 (共催)東京都医師会

お問合せ先:慈恵医師会  
TEL : 03-3433-1111(大代表)内線2636

## 創立百三十年記念事業募金の御礼とご協力のお願ひ

学祖・高木兼寛先生は明治14年5月1日(1881)に、東京慈恵会医科大学の前身である成医会講習所を開設しました。成医会講習所開設以来130余年の間、質の高い医療人を育成し、医療を通して社会に貢献するとともに、医療を支える研究の振興に努めてまいりました。

この間、医療は高度・専門分化し、それに対応する専門医を育成するとともに、一方では総合的診療能力を備えた医師の育成が求められています。本学の使命を果たすためには、教育・研究施設の改善・充実を図り、附属病院の施設整備を行うことが喫緊の課題です。

本学は大学の教育研究施設の他に4附属病院を有しており、長・中期計画を立ててこれらの施設の整備を行っています。これまで、平成12年(2000)には本院中央棟を、平成14年(2002)には大学1号館を完成させました。更に、平成24年(2012)には東京慈恵会医科大学葛飾医療センターを開院し順調に運営されています。

また、本院外来棟は開設以来50年を超え、病院の老朽

化が進み手狭になっています。中央棟に隣接して外来棟を建て、患者さんの利便性を図るとともに、東京都から借用した隣地を活用して、病院と大学の建物を整理し、機能的なキャンパスに整備する建築計画が昨年2月から実施され、現在計画が順調に進捗しています。本年6月には港工業高校跡地に新大学2号館(仮称)が竣工しました。また、9月には大学本館等既存建物の取壊しが開始される計画です。その後順次、国領キャンパス、第三病院の整備が進められます。これらの基盤整備には莫大な資金が必要となり、大学も自助努力を重ねておりますが、資金の調達には限界があります。

本学の将来計画と学祖の建学の精神にご賛同賜り、これまで関係各方面から心温まるご支援をいただきました。ご協力下さいました方々の温かいご芳志に厚くお礼申し上げます。我々の使命を果たすためにさらに一層の努力をしてまいりますので、引続き関係各位の全面的なご協力を心よりお願い申し上げます。

学校法人 慈恵大学 理事長 栗原 敏

## 創立百三十年記念事業募金寄付者名簿

▼ 同窓生	▼ 父兄	玉川 健二郎	大成建設(株)
(医)慈恵会秋山レディースクリニック	青木 亮	徳岡 晋	松岡塗料(株)
牛込 新一郎	大山 裕輝	野崎 智義	▼ 個人
五藤 仁	岡部 繁	平井 賢治	伊藤 博
小沼 康男	金子 圭子	前田 正樹	大鷲 ヒロ子
櫻井 健治	亀井 眞	松浦 康夫	堅山 壽子
戸澤 満智子	川口 正春	李 卿	金本 ツギ子
村瀬 鎮雄	口羽 謙二	▼ 企業	佐々木 英子
▼ 同窓会支部会・クラス会	小林 博英	(株)エスアールエル	鳥本 忠広
同窓会秋田支部	猿田 克年	三協立山(株)	中川 卓三
同窓会中野支部	塩見 春彦	慈恵ファシリティサービス(株)	樋口 美和子
同窓会宮崎支部	杉本 高弘	慈恵メディカルサービス(株)	

・平成28年11月1日~平成29年4月30日までに頂いたご寄付  
・ご芳名は敬称を省略し、五十音順に掲載しました。

## 行動憲章／行動規範

### 学校法人 慈恵大学 行動憲章

慈恵大学は、創立以来築いてきた独自の校風を継承し、社会に貢献するため、建学の精神に基づいた行動憲章を定めます。全教職員は本憲章を遵守し、本学の行動規範に従い社会的良識をもって行動します。大学役員は率先垂範し、本憲章を全学に周知徹底します。

1. 全人的な医療を実践できる医療人の育成を目指します。
2. 安全性に十分配慮した医療を提供し、社会の信頼にこたえます。
3. 規則を守り、医の倫理に配慮して研究を推進し、医学と医療の発展に貢献します。
4. グローバルな視野に立ち、人類の健康と福祉に貢献します。
5. 情報を積極的に開示して、社会とのコミュニケーションに努めます。
6. 環境問題に十分配慮して、教育、診療、研究を推進します。
7. お互いの人格と個性を尊重し、それぞれの能力が十分に発揮できる環境の整備に努めます。

この憲章に反するような事態が発生したときには、大学は法令、学内規則・規程に従って真摯に対処し、社会に対して的確な情報の公開と説明責任を果たし、速やかに原因の究明と再発防止に努めます。また、本学の就業規則に則り役員を含めて厳正に処分します。

### 学校法人 慈恵大学 行動規範

- (目的)  
第1条 慈恵大学(以下「大学」という)が社会から信頼される大学となるために、本学に勤務する教職員すべてが、業務を遂行するにあたり、また個人として行動する上で遵守すべき基本的事項を明記した行動規範を定める。
- (基本理念)  
第2条 東京慈恵会医科大学の建学の精神、行動憲章および附属病院の理念・基本方針を日々の行動規範とする。
- (法令の遵守)  
第3条 本学の教職員は法令、学内規程などの規則を厳守し、「良き市民」として社会的良識をもって行動しなければならない。
- (人間の尊重)  
第4条 全ての人々の人格・人権やプライバシーを尊重し、いじめや差別、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの行為を行ってはならない。
- (取引業者との関係)  
第5条 取引業者との取引に際しては、公正・公明かつ自由な競争を心がけ、職位を濫用して不利益をもたらしてはならない。また、不正な手段や不透明な行為によって利益を追求してはならない。
- (反社会的勢力との関係)  
第6条 社会秩序に脅威を与える団体や個人に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を遮断する。なお、患者対応についてはこの限りではない。
- (過剰な接待・接待の禁止)  
第7条 正常な取引関係(患者関係含む)に影響を与えるような過剰な接待、または贈答の受取を禁止する。
- (環境保護)  
第8条 資源・エネルギーの節約、廃棄物の減少、リサイクルの促進などに努め、限りある資源を大切にするとともに、環境問題に配慮して行動するよう努めなければならない。
- (公私の区別)  
第9条 公私の区別をわきまえ、大学の定める規則等に従い、清廉かつ誠実に職務を遂行しなければならない。
- (日常の業務処理)  
第10条 業務上知り得た情報や文書などは、業務目的以外に使用したり、漏洩してはならない。また、個人情報を含めた秘密の情報や文書などを厳重に管理しなければならない。  
2. 法令および就業規則などに基づき、常に災害の防止と衛生の向上に努めなければならない。  
3. 大学の財産を私的、不正または不当な目的に利用してはならない。  
4. 会計処理にあたって、不透明、不透明な処理を行ってはならない。
- (虚偽の報告・隠蔽)  
第11条 学内はもとより学外に対して、虚偽の報告をしたり事実を不正に隠蔽してはならない。
- (教育・指導)  
第12条 各職位にある者は、自ら本規範を遵守するとともに、所属教職員が本規範を遵守するように、適切な教育と指導監督する責任を負う。
- (告発)  
第13条 教職員または取引業者は、この行動規範に違反するような事実を確認した場合は、提案(告発)窓口にて報告することができる。  
2. 提案者(告発者)については、氏名秘匿などプライバシーを保護する。
- (監査・報告)  
第14条 監査室長は、本規範の遵守状況について監査し、監査結果を理事長に報告する。
- (違反の処理)  
第15条 教職員が本規範に違反した場合は、事実関係を慎重かつ厳正に調査の上、就業規則に則り懲戒する。
- 附 則  
1. 本規範は、平成17年4月1日から実施する。  
2. 各職位は、取引業者等に対して本規範の趣旨に従い行動するよう指導するものとする。

## 公益通報・研究に関する不正・ハラスメント等相談窓口について

本学では「法令や規則の違反行為ならびに倫理違反行為」「公的研究補助金等の不正」「ハラスメント行為」を早期発見し、その発生又はこれらによる被害の拡大を防止すること及び被害者の保護を目的に、教職員が安心して通報・相談をすることができる体制として、外部・内部に相談窓口を設置しております。

- 公益通報とは  
職場で行われていた法令違反行為(又はまさに生じようとしている場合)を知った場合、不正の利益を得る目的や他人に損害を加える目的ではなく通報すること
- 利益相反とは  
ある行為によって、一方の利益になると同時に、他方への不利益になる行為のこと
- ハラスメントとは  
広義としては「人に対する嫌がらせ」を意味します。その種類は様々ですが、他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えること

【通報者・相談者の保護】  
通報・相談者の名前は秘匿され、不利益な取扱い等を受けないよう保護されます。

### 通報・報告制度一覧

相談窓口	通報・連絡手段					掲載冊子	
	来訪	郵送投書	電話	メール	Web		
公益通報	【外部】 本学契約弁護士事務所		○		○		①教員・医師ハンドブック ②新入職員研修の手引 ③研究費使用ガイド
	大学監査室	○	○	○	○		
	グリーンボックス		○				
研究関連	<意見・提案> 学長				○		①研究費使用ガイド
	<通報・相談> 大学監査室	○	○	○	○		
	<利益相反> 利益相反管理委員会	○		○			
ハラスメント 労務関連	【外部】 株式会社保健同人社			○			①教員・医師ハンドブック ②ハラスメント防止ハンドブック
	人事課 各機関管理課人事係	○		○	○		
メンタルヘルス	【外部】 株式会社保健同人社			○		○	③新入職員研修の手引
	学生相談室				○		

※上記の通報・相談窓口の詳細はイントラネットにも掲載しておりますので、ご確認ください。  
なお、イントラネットは学内ネットワークからのみのアクセスとなります。イントラネットURL: <http://j-net.jikei.ac.jp/>

## 医療連携窓口のご紹介

本学附属病院では、紹介・逆紹介など循環型地域完結型医療を推進し、地域の先生方との密なる医療連携を目指します。患者さんをご紹介頂く際は、各病院の担当窓口までご連絡をお願い致します。



### 附属病院(本院)

患者支援・医療連携センター 医療連携室

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18  
TEL 03-3433-1111(代表) 内線5099  
FAX 03-5401-1879(直通)



### 葛飾医療センター

入退院・医療連携センター 医療連携室

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2  
TEL 03-3603-2111(代表)内線5145  
FAX 03-3690-7474



### 第三病院

総合医療支援センター 医療連携室

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1  
TEL 03-3480-1151(代表)内線3804、3830  
FAX 03-3430-3611



### 柏病院

患者支援センター 医療連携部門

〒277-8567 千葉県柏市柏下163-1  
TEL 04-7164-1111(代表)内線2158  
FAX 04-7164-1197



## 史料室がリニューアルオープンいたしました

# 本学の源流、 学祖の功績を ご覧ください

史料室では、学祖の海軍大礼服をはじめ展示された遺品の数々を、将来に向け万全の保管状態にするために、FCG総合研究所に調査を依頼しました。日本有数の専門研究員や修復士らにより史料の燻蒸・クリーニング・修復作業が行われ、展示は史料それぞれに合った最新の方法でリフレッシュされました。多くの方々に、本学の源流、学祖の功績をご覧くださいと思っております。

史料室 栗山 敦子

FCG総合研究所(フジサンケイグループ研究機関)から

境 政郎 取締役相談役:

「海軍大礼服」に学祖の匂いを感じ、『病気を診ずして病人を診よ』に理念を語る学祖の口吻を感じました。学祖の業績を伝える大切な財を朽ちさせないお手伝いが出て来て光栄に思います。昨年貴院で手術を受けた際、スタッフの対応には学祖の理念が生きておりました。温故知新のよすがとして学祖の遺品や理念が末永く伝承されることを願っております。

川上 裕司 暮らしの科学部長:

室内環境と史料・カビ検査後、結果に基づきガス燻蒸、クリーニング、修復処置を行いました。学祖の大礼服をはじめ、掛軸や書、賞状、勲章など、明治期の貴重な文化財としての歴史的価値は高く、史料室は学祖の傑出した世界的功績を伝える遺産の宝庫です。



## 編集後記

いよいよ今年9月には大学本館の解体工事が始まります。思い出が詰まった中央講堂も85年の歴史に幕を降ろしました。今回の特集では、本学の歴史に詳しい中山和彦名誉教授のご協力のもと、この中央講堂を取り上げました。「慈恵の今を伝える」本誌としても「中央講堂の今」をお伝えすることが重要だと考えました。

本誌では本学に関係する皆さんと価値観と方向性を共有することを目的に、これからも変わりつつある本学の姿をお伝えしていきます。より役立つ法人誌にするために、是非、本誌をご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せください。よろしくお願いいたします。

大学広報委員会委員長 瀬川 晋

### 表紙写真 中央講堂



昭和7年に建設された大学本館は、本学にとって関東大震災からの復興の象徴だった。その中にある中央講堂は、多くの慈恵人にとって、入学式、卒業式、入社式など様々な行事を経験した思い出深い場でもある。その中央講堂も西新橋キャンパス整備計画の進行にともない、今年9月、85年の歴史に終止符をうつ。

